京城日報

十五日夕刊

京城太平通二丁目 發行所 合資會社 京城日報社 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

○日支交渉と米國の聲明

日支交渉の成行を監視しつゝある米國政府は日本が支那政府より適法の賠償を得て滿足するか又は特殊の利權を獲得せんとするかを疑ひ居るを以て事件の進行を監視すべしと聲明せり(紐育電報)

○希臘の形勢依然危機

雅典來電に曰く、危機依然として去らず前途の觀測甚だ困難なり但し國王は最早遲滯なく中立の態度を捨つるに決定せし模樣なり萬事は羅馬尼の戰線に於ける戰況の發展如何に依つて決せらるべし(紐育電報)

○佛軍獨軍を壓迫す

佛軍の華々しき戰勝

佛軍はブーシャヴエヌ(コムブルの東南約三哩)とフオークルの間に於て華々敷戰勝を博したるを以て獨軍は最早ペロンヌとバポーム間の國道を占領する能はざるに至れり佛軍は殆んど完全にコムブルに接近し居り又ペロンヌ要塞に對して北方より壓迫を加へつゝあり(巴里電報)

○墺將辭職

アムステルダム來電に曰く、墺太利のブランツエル、バルチン將軍は辭職せり(倫敦電報)

○露軍進展

ドブルヂア戰線に於ける露軍の攻勢は漸々進展しつゝあり(紐育電報)

○總督東京歸著

伊勢、京都、紀州地方に旅行中なりし寺内總督は大藤副官を隨へ十四日午後八時三十分東京驛著列車にて歸京し直ちに麻布區笄町の自邸に入れり(東京特電)

○駐支兵出發

第六師團駐支交代兵六百二十名は瀬戸口少佐引率の下に十五日門司着十六日沙古丹丸にて出發の豫定なり

●水利事業計畫成る

河川調査に伴ふ水利調査‖河川改善に抵觸せざる水利地點‖其蒙利面積と工業見積額‖國家經營と收支の關係‖農産増收に依る國家の利個

土木局長 持地六三郎氏談

▲朝鮮の産業 は其基礎を農産に置くとは予の論ずるまでも無い處であるが之が豐凶は一に天候の如何に依りて決せらるゝ現況であつて内地の如きは畓田面積の十分八までは人工的灌漑の設備をなして居り臺灣でも十分七までは立派に灌漑事業の效成を見せてゐるに拘らず朝鮮は未だ十分八までは之を天水に仰がなくてはならぬ有樣であることを知らば水利灌漑の事業が朝鮮産業の開發上如何に急務であるかを推察することが出來るであらう、茲に於て總督府は之れが

▲根本的政策 として昨年度來鮮内十三大河川の實地踏査に著手し治水に關する大體計畫を定むると共に將來河川の改修に抵觸することなくして水利事業を起し得可き地點の精査を遂行した、之れ即ち茲に說かむとする水利事業計畫であつて其の實施及び料理の方法は全く未定であることは謂ふまでもないが調査の結果に依ると水利を起し得る個所は大同江以下所謂十三大河川の流域に於て百七十六個所此の灌漑面積十八萬四百五十町歩、工費見積額三千五百三十四萬六千三百十餘圓、又た十三大河川の流域以外に於て二十三箇所、此の灌漑面積四萬三千四百町歩、工費見積額七百三十九萬二千八百六十餘圓合計

▲二百九箇所 の灌漑面積二十二萬五千八百五十町歩を算し此の工費見積額四千二百七十三萬九千八十圓といふ事になつてゐる尤も之れは個人若くは水利組合等では起工困難であらうと察せらるゝ處のみであつて一箇所の灌漑面積は少くとも一千町歩以上に亙り中には一萬町歩を越へるものもある而して此の内最も有利であり且つ急を要す可きものと認めたものは三十八箇所其の蒙利面積十萬六千七百三十町歩を算へ工費見積額二千萬圓であつて

▲工事の種類 は貯水池に依るもの或は河水引用に依るもの又は揚水機に依り又貯水揚水を併用す可きものなど色々あるが其の内更に十三箇所は灌漑と同時に防水の用を爲すものである、以上は實際に就いて調べた所であつて前にも述べた如く此の事業は如何にして起すか又如何に料理して行くかは未確であり且つ此の調査が果して完璧のものであるか否やも不明であるが兎に角土木局では今日までに於て先づ之れ丈けの調査は出來上つた譯である、之れは素より大事業であつて倘ほ

▲十二分の調査 と考量を要すことであるから一朝夕に著手する運びには行かぬ、然し乍ら朝鮮全體を一括した大規模の水利事業の如きは例へば拓殖開發を目的とする鐵道線路も又た不利の線路も之を併せて經營することに依つて初めて收支の均衡を得るものである、此の點から見れば鐵道が國家の經營を必要とする如く此の事業も亦國家の經營に俟つ可きが至當であるといはねばならぬ、元來水利事業なるものは公共事業であり又た其の實施に當つては治水事業と極めて密接の關係があるから之れをして若しも會社或は個人の經營に委ぬる時は

▲有利の個所 許りを喰ひ散らして不利の所は捨てゝ顧みぬことゝなる、斯くては大局から見て拓殖開發の績を擧ぐる所以でない、又た之れを委ぬるとしても充分の取締を講じ愼重の詮議を經なくては將來の治水事業に對して障碍を與ふる虞があるのみならず其れを營利的に經營する場合には、勢ひ水税を高くして農民の利益を減殺する結果を免れぬ、殊に水の仕事は技術上の精微と管理上の手腕とに俟たなければならぬものである現に英領印度では水利事業を

▲國家の經營 として多大の成功を收めてゐる、即ち千九百十四年の報告に徵するに收支計算に於て約三千三百五十萬圓の純益を得、之れに投じた資本總額に對する利廻りは年七朱三厘許りに當つてゐるが、此事業が嘗て會社の經營時代には二度まで失敗に歸したに拘らず國家の事業となつて以來斯の如き成績を贏ち得たのは全く技術的と管理上との成功に歸せなくてはならぬ

▲又臺灣では 今日三千餘萬圓の經費を投じて大規模の水利事業をやつてゐる世間は之れに對して失敗の評を下す者があるが其れでも利廻りは年四朱位には當つてゐる、水利の事業は假令資本上の收支無くとも農産の増收に依る國家の利益は思ひ半に過ぎるものがある、兎に角朝鮮に於て將來國家が如上の大水利事業を起すとするなら他國の先例もあることであるから充分審議攻究して遺漏なきを期するであらう

●政務總監歸任

遣露閑院宮殿下を安東縣に奉送したる山縣政務總監一行は十五日歸任の筈なりしも都合に依り一泊同夜同地發汽車にて十六日午前八時南大門驛著歸任の事となれり

●大屋鐵道長官

遣露大使宮御見送りの爲め安東縣へ赴むける大屋鐵道局長官、三本同理事は十五日夜同地發十六日朝八時三十分著歸任の筈

●秋山軍司令官

遣露宮殿下御見送りの爲め北行せる秋山軍司令官は十五日新義州邸家を巡視し同夜同地發十六日平壤に到り同じく軍隊の視察を爲したる上一泊十七日歸任の筈なり

●立花中將歸任

遣露大使の宮御見送りの爲め北行せる立花第十九師團長は十五日朝龍山著歸任せり

●古海警務總長

古海警務總長は閑院宮殿下を國境迄御見送り申上げ歸途龍岩浦を視察し十六日歸京の筈

●全國水道會議

全國水道會議は十月中旬京都に於て開催の事となれり、總督府よりも土木局技師出席の筈にて目下人選中也

●臨時研修會

總督府にては十六日午前八時より第二會議室に於て臨時研修會を開き黑板博士の朝鮮史蹟に關する講演あり政務總監以下各部長官局長高等官は勿論甲乙兩班に屬する判任官全部聽講す可し

●長官會議休會

半休廢止と共に定例長官會議は毎週二回に復したるが十五日は都合に依り休會となれり

●赤十字總長弔詞

日本赤十字社朝鮮本部總長は平壤支部協贊委員福田警視の逝去並に京城終身正社員和田しげ子の逝去に對し其々弔詞を贈れり

●四氏送別會

朝鮮銀行佐藤得四郎、堀嘉三、高橋武夫三氏は夫々紐育露都上海へ出張し又第一銀行京城支店の村上豐作氏は東京本店に轉任する事となりしを以て銀行集會所俱樂部主催にて前記四氏の爲來る十八日午後七時花月に於て送別會を開く由當日は一般有志の來會を希望する趣にて出席希望者は十七日までに長谷川町銀行集會所へ申込まるべしと會費は五圓なり

●三浦博士視察

入京中の文學博士三浦周行氏は半島史編纂に就き總督府當局及び編纂主任たる黑板文學博士、今西文學士等と事務打合せの上一箇月餘に亙り地方視察を爲す由にて巡廻地方は未定なれど多分南鮮地方即ち伽耶、任那、新羅等の文明に依りて盛んなりし慶尚南北道方面の視察を爲すに到るべしと

●王世子附武官

十五日午前八時南大門驛著列車にて李王子殿下附武官步兵少佐金應善氏安東より入京大觀亭に投宿せり

●野田副總裁

野田東拓副總裁は十五日朝南大門發天安に向へり

●日露貿易好調

輸出激増輸入漸減

日露貿易の七月中に於ける總額は輸出一千五百四十五萬五千二百五十三圓輸入二十五萬一千七百十八圓にして輸出を前年同月に比すれば八百五十九萬圓前月に比し四百四十六萬圓を激増し輸入は反對に前年同月より二十萬圓前月より七萬三千圓を減少せり尚ほ一月以降の累計は輸出七千七百五十五萬零二百五十圓輸入百九十七萬五千八百九十七圓となれり七月までの主要品を擧ぐれば左の如し

▲輸出▼(千圓)

食鹽	四三四	絨天	一二九
皮毛角牙	二〇八	硫黄	二、五一三
樟腦	三三〇	沃度加里	二二九
藥材製藥	四、六二一	生絲	四、九七八
羅紗セル	四、二九三	綿メリヤス	二、五三三
鐵製器	二一七	金屬製品	二二二
靴	一、六一五	石炭	二〇八
銅	二〇、八四六	安知排尼	三、八五七
眞鍮黄銅	二、三一〇	金貨	七、五〇四
眞鍮製器	三八五	雜品	八、五七五
小包	九、三六六		

▲輸入▼

鐵類	二五六	雜品	六〇六
豆類	三〇九		

●朝鮮大阪貿易

九月上旬に於ける大阪對朝鮮貿易は移入八十四萬八千五百八十圓移出十九萬一千百五十八圓合計百零三萬九千八圓なるが移出移入の重要品は左の如し

九月上旬移入		九月上旬移出	
綿布	三三〇、九三二	米及籾	三三、六三一
清酒	三三、三四四	豆類	二、五七七
綿絲	七四、四九	牛皮及水牛皮	六、四三五

而して一月以降の累計は輸入一千六百九十八萬四千五百圓輸出一千二百三十五萬二千六百圓にして結局四百六十三萬一千圓の入超となれり

●露貨換算變率

日滿連絡運貨換算率九月十五日以降邦貨百圓に就き露貨百六十八留と變更せられたるが從來の換算率に比し六留の下落なり

●南浦精米を露國へ

鎭南浦新井精米所は獨力にて露國との間に精米一萬石供給の契約をなし目下南浦港にて現品を大智丸に積込み中にて近日出帆の筈なるが同精米所の南氏引渡しの爲め同地に赴く由

●關釜船繰變更

關釜間貨物山積に就き連絡船新羅丸は臨時貨物船として運航する事と成り二十日、廿二日、廿四日の三日間釜山朝著夕發の航路をとる事と成り之に對して普通連絡船の船繰變更ありたり如左

	朝著	夕發	夕著	朝發
十七日	對馬	對馬	壹岐	壹岐
十八日	高麗	高麗	新羅	新羅
十九日	櫻	櫻	壹岐	壹岐
二十日	高麗	高麗	對馬	對馬

●鹿兒島縣視察團

鹿兒島縣教育會の主催に係る鮮滿視察團一行は滿州方面の視察を了へ廿八日入京の筈にて京城には三日間滯在の豫定也

清津

▲角輪組大敷網成績● 朝鮮沿海に於ける大敷網使用の鼻祖角輪組が本年六月初旬より城津近海に於て大敷網の漁業を開始し鰤、鯖、鯛、鰆等の大漁獲を試みたるが八月末迄の漁獲高は鰤八千五百尾、鯖三萬五千尾、鯛四千二百尾、鰆十二萬五千尾總價格一萬四千四百二十五圓の好成績にて漁獲物は全部城津附近に冷藏庫鹽藏桶に之を所理して同組附屬小汽船にて搬出元山及び内地市場に販賣したりと▲甲山採鑛搬出● 過般來採鑛經營に著手したる甲山銅鑛搬出は城津及び咸南新昌の二地點よりなす事となりしが城津甲山間は距離新昌に比し短きも二十四里の間車輛を通ずべきは僅々八里にして他十六里の間は道路嶮峻駄馬に依るの外道なきの有樣なるが今般城津人士は城津運搬組合なるものを組織し駄馬百七頭を以て同運搬を爲すべしと目下間島地方より馬匹輸入中なりと(十四日夕刊一めん清津とありしは滿州の誤植に付訂正)

平壤

▲新潟地方裁判所檢事正來壤● 故福田平壤警察署長の令兄田武規氏は福田警視の葬儀に會葬すべく九月十五日午後三時著列車にて來壤▲商議書記長問題● 平壤商議書記長は種々の事情より當分之を置かざることゝし元商議創立事務囑託川上淨介氏書記として任命せられ書記長の事務を執るべしと▲商議評議員會● 十三日午後三時より平壤商議評議員會を會議所樓上に開き平壤商議議事細則及傍聽人取締規程給與規則等に付き審議したるが何れも原案通り可決したり尚會議所現金預入銀行は漢城銀行支店に指定する件をも可決したり▲津村鮮銀支店長著任● 平壤朝鮮銀行平壤支店長津村雄之助氏は十三日著任同鎭南浦支店長久保田積藏氏は同日鎭南浦に赴任せり▲園田大佐來壤● 黄海道警務部長鹽澤憲兵大佐は閑院宮殿下警衞として來壤即日歸任▲鎭南浦警察署警部の異動● 鎭南浦警察署警部古川芳太郎氏は依願免官となり後任は平安北道警務部古木巡査部長警部に昇進し來任の筈

仁川

▲宇都之宮觀光團● 目下來鮮中の宇都之宮觀光團は來る十八、九、二十日の三日間の中來仁し各所參觀の筈▲熊本教育視察團● 熊本縣教育會主催にて滿鮮教育視察中なる視察團は來る二十一日午前來仁の筈なり

江景

▲市場擴張● 忠南江景に於ける市場としては上市場六百坪下市場一千六百坪の二箇所を有したりしも土地發展と共に市場地域の狹隘を感じ地域擴張整理問題は江景繁榮上の懸案なりしが過般愈々地域擴張整理を施す事に衆議一決し業に十二人の市場經營名義人の名を以て其筋に向つて地域擴張整理に關し認可申請中なりしが本月十日認可の指令に接したるを以て十二日學校組合事務所に於て實行に關する協議會を開きたるが今其の擴張整理計畫の内容を聞くに第一期事業として上下兩市場を併せて隣接地約一千坪の土地買收擴張を行ひ現在底地に盛り分の地揚工事を施し豫定の如く地域擴張後恰も市場の中央を貫流すべき小川口に數箇の橋梁を架設する等其經費約六千圓を要し第二期事業として雨水氾濫に際しても絶對浸水を受けざる道路平均の地揚工事を施し貸店家屋の建設其他整理工費約五千圓前後通じて一萬一千圓を要すべしと

群山

▲水産水揚● 群山水産株式會社に於ける八月中水揚成績を聞くに前年同月に比し數量に於て稍々不成績を示したるは天候の概して不良なりしと從漁船の幾分を減じたるに基因せるも魚價は常に高値を持續したり其水揚高は鯛九百五十七貫一千三百卅九圓八十錢を最高額とし數量通計四萬六千六百四十四貫百二十目金額通計三千六百二十七圓九十七錢なりと

光州

▲入光軍隊歡迎● 來る十月三日より光州附近にて催さるゝ光州大隊演習にて管下海南、茂長、全州の各守備隊入光するを以て光州官民は之に對し特に歡迎の意を表せんと之が準備の爲め近く協議會を開くべし▲光州神社營繕● 光州遙拜所は目下神社として認可出願中なるが荒廢其極に達せるより今回光州神社創立委員會にて之が營繕を爲すべしと▲代辨人不許可● 光州郡土地調査々定に就て十月一日より關係地主に地籍圖を閲覽せしめ之れにて土地所有權を確定する筈なるが然るに地主に代りて之を閲覽しての手續を爲す代辨人なる者あり各地到る所にて隨分不評を蒙りつゝありしが光州にては此弊害を慮り各面より代表者を選み之に一切を處理せしめ代辨人の手を經ざる事となりたるより光州署にては代辨人は一切許可せざる方針なりと因に其の出願人は目下卅餘名に及べりと▲乃木會● 當地乃木會にては十三日午後四時小學校に於て總會を開き故乃木大將の祭典を執行し後餘興の筑前琵琶等ありしが宮木道長官其他官民有志多數參列したり▲水口關税課長● 水口關税課長は大竹屬を隨へ十二日入光道廳及び各官衙を訪問種々調査の上十三日正午木浦へ向け出發せり

大邱

▲二學校組合決算● 慶北慶山郡河陽學校組合大正四年度歳入決算は二千五百二十四圓六十二錢歳出二千二百六十五圓三十九錢差引殘金二百五十九圓二十三錢醴泉郡醴泉學校組合は歳入決算九百九十四圓六十八錢歳出九百七圓三十六錢差引殘金八十七圓三十二錢なりと▲若木組合規約變更● 慶北若木學校組合は一箇年以上在住者にして年額二圓以上の納税者に對し有權者たらしむ可く認可申請中の處九月八日附を以て認可の指令に接せり▲慶州市場近況● 本年稻作愈々豐作と豫想せられたる結果貯米者の放賣數然軟弱に傾けり昨月中旬以降は米價自晟相當に上り昨月中邑内市場に上りたる重なる物資は米四千百石大豆二千二百石其他魚類三千三百圓野菜九百三十五圓果實二百三十圓織物三千二百圓金物四百九十五圓の取引を見るに至れり▲府追加豫算案● 大邱府廳にては目下建築中なる第八十聯隊將校宿舍及び營舍給水設備費出一萬五千五百五十一圓の追加豫算案は他日府會議會を開く筈なり▲火葬場敷地寄附● 大邱府明治地徐內朝氏は火葬場敷地として達城郡大明洞畑六百九十三坪を寄附すべく申出でたり▲永川物資集散高● 永川邑內日鮮人有志が輕鐵本社へ停車場位置の件に付き請願中なるが永川邑內市場に於ける昨年度の物資集散高は薪炭百八十萬貫雞十萬俵牛三萬千頭織物三百貫穀類八萬一石石油類一萬五千箱鹽魚類一萬俵也▲保護牛指定數● 慶北道管内にては保護牛規定により該牛の指定をせるが種牡牛四百五十頭、保護種牡牛一千頭、候補種牡牛百頭合計千五百五十頭にて要する補助金本年下半期に於て九千九百二十五圓なり

釜山

▲大原組長全癒● 朝鮮水産組合長大原正太郎氏は去月歸省し痼疾療養の爲め京都に滯在したるが全癒せるを以て十四日午前さくら丸にて歸任せり▲商議役員會● 釜山商業會議所にては十五日午後一時より同役員室に於て役員會を開會したるが協議事項を會議所附屬の賣品館處分に關する件及三線連絡問題に關する件等なり▲高木判事停留● 釜山地方法院判事高木安太郎氏は一家六名内地に歸省中十四日午前連絡船にて上陸したるが大阪に下車滯在したるを以て神仙丸に停留を命ぜられたり

人事消息

▲和田鐵道局參事 安東へ赴むける歸途平壤、鎭南浦視察

▲飯島工學士 入京中の處十五日朝發釜山へ

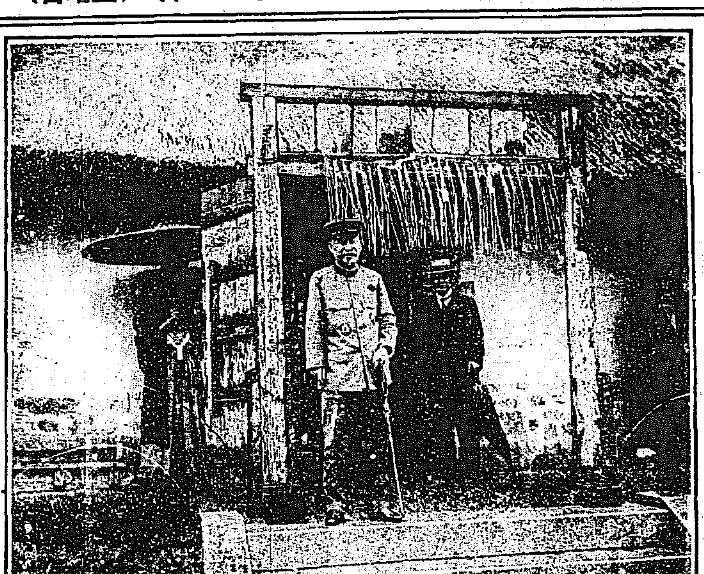
▲藤川鶴造氏(實業家) 十四日夜退京

▲高橋長秋氏(吉川鑛山社員) 十五日朝退京

▲水谷千萬吉氏(平壤鑛業所長) 十五日午後入京而尾へ

▲福田武規氏(新潟地方裁判所檢事正) 平壤福田警視葬儀參列の爲め内地より渡鮮十五日朝通過北行

▲佐々木慶南道長官 十三日夜閑院宮殿下を送迎後歸任



寺内總督乃木神社參拜　十三日正遷宮の時

●閑院宮長春御通過
大和ホテルに御少憩＝警戒嚴重

遣露特使閑院宮殿下には滿鐵貴賓車にて途中御恙なく十五日御機嫌麗はしく長春に御著遊ばさる殿下には奉迎の官民中重なる者に御握手を賜ひ御丁重なる御會釋ありて後御馬車に召させられ大和ホテルに御成り被遊御食事後御休憩約六時間にして再び東清鐵道貴賓車に召され北行遊ばされたり奉送迎者は曩に通信せし人々の外露國よりドミトクチエフ中將アフハエフ中將ベザック大將露國領事外數名吉長道尹長春山内領事其他官民數十名在鄉軍人等にして御道筋には三百餘名の本邦人堵列して敬意を表し警務署憲兵隊守備隊は極力警戒を嚴重にし鐵道線路は守備兵保線員等にて警戒せり又停車場構内には國旗を揭げ紅白の布にて裝飾を施し御道筋には白沙を敷き大和ホテルは十分なき準備を爲し御食事には特に注意を加へたり（長春特電）

●一決戰は何うしても免かれまい
蒙支兩軍の衝突と我軍の監視

郭家店まで進出して空しく歸蒙の途に就ける巴布札布の蒙古軍は既に楊家城子を去り我が監視線外に出で漸次西方に向ひ楊家城子を距る西北三邦里の東毛家大城子附近において數百の支那兵と衝突せるが支那軍は新集廠の北方長嶺子にも相當兵力を備へ吳俊陞部下の一隊は

▼洮南より南下し後路遮防隊統領陳錫武も一隊の兵を率ゐて北行し曩に鄭家屯に在りたる二十八師兵も某地點に向ひ相合して蒙軍の退路を扼せんとし蒙軍も亦一決戰を試みんと氣勢を示しつゝあれば恐らく其の附近において蒙支兩軍の大衝突を演出すべし蒙古軍の郭家店退却に際し奉天軍事顧問たる菊池中佐の斡旋に依り蒙軍は退却に際し掠奪を爲さゞる事支那軍は蒙軍を追擊せざる事を條件とし而して我が佐藤枝隊は之を監視すべく楊家城子まで

▲蒙軍の退却を見屆けたるに楊家城子を離るゝや忽ち蒙支軍衝突起り更に大衝突を見んとするの狀勢を呈せるは如何なる故にや支那側の擧明によれば蒙軍が柔順に退却せば解散歸鄉せしむる方針なるも蒙軍猶ほ鬪志を有し動もすれば不穩の擧動に出でんとする狀あり殊に蒙軍に混入せる宗社團の一部は蒙軍を擁して飽迄滿朝復辟の擧を行はんと圖り禍亂醱發の虞あるを以て勢ひ一擊を加へざるを得ずと云ふにあり扨こそ

▼楊家城子以西の地に兵力を集中し蒙軍の退路を扼し之れに一擊を與へんと擬しつゝある次第なるが蒙軍も左るもの之れに對して亦相當に用意する所あり寧ろ一決戰を希望し居るが如き有樣なり、狀勢斯くの如きを以て楊家城子に在る我が監視兵は猶ほ其の監視を解除する能はず其の蒙支軍交戰禁止區域を新民屯、鄭家屯、楊家城子、農安縣以東一帶の地域に延長して嚴重に監視をなしつゝあるが蒙支軍衝突の結果蒙古兵にして我が監視線内に竄入する者あらば直ちに其の武裝を解除せしむべく同時に線内において支那兵の攻擊を許さず飽まで既定の方針を嚴守するなるべし（大連）

●公金一千圓の費消

慶南晋州畜牛検組合會計役を十年間勤務し官民の信用厚かりし熊本縣人伊作友八は昨年來酒色に沈溺するの模樣あり其の筋及び評議長等注意中なりし八は突然會計檢査に着手する事を豫知し去九日家屋を賣却逃走せし後會計檢査に着手せしに公金及び保管金壹千餘圓を費消せる事發覺せるため直ちに其の筋に告訴すると共に監督官廳に上申し第二部長の檢査を仰ぎ善後策を講じつゝあり犯人伊作は未だ行衛不明なる由（晋州特信）

■稀しい寡言の人
故福田警視の事ども

去る十二日永眠した平壤警察署長福田警視は一風變つた性格を具へてゐて寡言沈默と來たら二日でも三日でも默つてゐるそうかと思ふと思ひ出したやうに滑稽な話を持出して部下を笑はせることもあつた氏の道樂と云ふのは菊作りと鷄飼でその外には何もなかつた道樂と云つても世話方なのでなくて眞に是れを愛して居つたといふに過ぎぬ、而して常に人間は凡ての生物に對し斯くの如く愛すべしと云つて居つた氏の家に雇はれ居る女中は八年も勤めてゐる氏は人の子も我子も同じ樣に思つてゐる、部下の巡査に對しても親切に指導したので何れも慈父の如く敬愛してゐた實に意志の堅い人であつた

●暴行者自白す

十三日夜釜山永嘉臺下に電車二臺を襲擊し轉覆破壞せる群集中の主謀者十數名十四日釜山警察署の手に逮捕せられ目下取調中なるが犯人中既に自白せる者數名あり猶引續き犯人捜索中なりと（釜山特電）

●釜山東萊間電車運轉開始

…は午後一時頃漸く引き起し車體は下[illegible]…が司朝連絡船新羅丸[illegible]

●帆船で疑似虎列拉患者
釜山檢問船の發見＝奇怪なる船長の振舞
稅關埋立地北濱の交通遮斷

十四日午後二時半頃釜山に入港せる帆船中に怪しき患者ある旨檢問船出動中なりし入港船舶檢問船乘組の補助憲兵上等兵が發見し直ちに停船を命じ消毒準備のため同船を離れたる隙を見て同帆船々長愛媛縣越智郡魚島村一番地甲地三百七十五山下半治郎が同船を北濱に漕ぎ着けその罹病者なる朝鮮人船夫某を北濱の朝鮮人酒幕に連れ込みたるを間も無く檢問船が發見して大騷ぎとなり直ちに北濱の酒幕より患者を引き戾し再び該帆船に收容し嚴重なる消毒を爲したる上患者は午後四時半に至り神仙臺檢疫所に收容引つゞき檢鏡の結果十五日正午に至り疑似虎列拉と診定せり、同船は十二日午後九州若松港に於いて石炭を積み込みそれより釜山に入港せるものにて若松港は虎疫流行指定地に非ざるも同港附近に散在せる石炭積取船には虎疫の流行を見つゝありて之れがため感染せしものなるべく然して患者の上陸せる北濱は稅關上の埋立地にて交通最も繁劇の箇所にて頗る危險なるより同地附近は時を移さず交通遮斷消毒等を行ひ嚴重なる豫防方法を取りつゝあり（釜山特電）

▲疑似患者
釜山草梁に發生

釜山草梁居住の薪炭商開浦菊治郎（五二）は十四日午後より吐瀉下痢を頻りに催ふし苦悶を續け居れる症狀疑はしき點ありしが醫師の診察を受けたる結果怪しむべき點多きより十五日神仙臺檢疫所に收容目下檢鏡中なり（釜山特電）

◆罪の芽ものがたり（1）
△不良少年の研究

近年京城に不良少年の增加しつゝあることは其筋に於て豫てより著眼し其調査の步を進めると共に是れが跋扈を防遏し檢擧に努めて居る、其の增加の原因並に傾向に就いて調べて見ると、不良少年中の

◆内鮮人は自ら其の形式を異にしてゐる、其數に於ても內地人は甚だ僅少であるが朝鮮人不良少年の數は實に夥しいものである、朝鮮人の不良少年なるものは近來俄かに出現したものではない、昔からあつたもので要するに家庭の顧りみられない副產物とも見るべきものであらう、大抵は其保護者たる父母兄弟が生活難の爲め、年頃となつた我子を顧みるの

◆可愛盛り 遑がなく自然放任するは未だしも子供が七八歲に達すれば『外に行つて拾つて食へ』といふやうなことを強ゐられる爲め外出するのが抑の手初めで遂には矯正の出來ない不良兒になるのである、家に歸つても餓を凌ぐ食料が無いので已むなく自宅附近を徘徊して拾ひ食ひをする其結果は遂に盜み食ひに移り斯くて無邪氣で可愛盛りの少年も飢ゑた獸のやうに邪僻になり疲憊した旅人のやうに

◆賤しい心を起すとなり人家稠密な市街地に蝟集して來るのであるが、以上は單に貧から生れたものであるが、尙ほ其他の方面から不良少年となるの徑路も少くない、先づ多くは朋友に誘惑されたり、又は家庭で虐待を受けた結果無斷家出したり、或は我儘育ちから横道に迷ひ込んだものなど其原因は多方面に亘つてゐる、是等少年が一度懷しい家庭なるものを厭つて冷たい實社會に飛出して却つて面白い遊蕩として

◆放縱氣儘なる振舞をするやうになつたならば容易に取返しがつかぬ要之不良少年となるのは家庭と保護者がその動機を與へるので罪は保護者にある京城に於ける朝鮮人の不良少年は年齡九歲位から十六七歲位の者が最も多數を占めてゐる、彼等は大抵團體となり其の中の顏利きや年長者が自ら團長格となつて數名或は十名內外の一團を組織してゐるが內地の其れのやうに

◆ハイカラなる團名などは有てつゐない、素より一定の住所とてもある筈もなく夏は南山の松林の中東大門西大門等の町外れの空家、或は市中の空家、橋の下又は崩城壁の破れ目裏通りの物陰等に身を潛め冬は山腹の岩洞や、土穴を穿ちて塒とするといふやうな境涯である

◆﨟たけた裲襠姿を描いて
文展の仕度に忙しい大阪の美術家

◆日本畫壇一方の雄たる竹內栖鳳氏は三年振りの大作を試むべく避暑旅行中に得たる畫材波に鷗の六曲屛風を描かんと既に下繪にかゝつたと傳へられたが何故か又今年も出品せぬとの報があつた、惜しい事だ。

◆同氏に次ぐ京都畫界の重鎭山元春擧氏は昨秋文展締切後仕上げた雄大なる越中立山萬年雪と今夏旅行した日本アルプスの景を出品すると傳へられる山水畫中の雄たるに違ひない。

◆當代閨秀畫家中の女王を以て目さるゝ上村松園女史は『凉みの庭』と題すべき美人畫で數幹の竹を背影にして庭の飛石に團扇を持てる女房らしい女と後姿の若い女と前に屈める一婦人と一少女を描いてゐる下繪は既に出來上り目下本製作にかゝつてゐる二十日頃には仕上がる筈である

◆伊藤小坡女史は『文の力』と題し松竹女優[illegible]を…モデルにして臺所の朝に若い美くしい濃い淺黃の單衣を著た婦人が框に腰をかけ新聞を讀んでゐる圖で背景の日メクリ暦が八日なのに持てゐる新聞が九日であるなどは朝の氣分を具象化せんと試みた努力である、讀んでゐる處が小說であるのも用意周到、そうして若い閨秀畫家が現代的の女を描くのは賢いやり方であると噂されてゐる。

◆高倉觀崖氏の六曲屛風は素晴しい華麗なものである、桃山時代武家の婦人連が種々の食器調度を携へ菜花の野邊に氈を敷いて遊べる圖で、婦人の裲襠姿、野風呂行厨等調度品の時代觀念も可なり研究されてゐる

◆山下竹齋氏は四五の屛風に桃の村を描き田舍の風俗を穩かに寫し出さんと試みてゐる、氏としては尤も適當なる畫題である。

◆中居顯谷氏は鳥仙紙の三幅對山水の圖で旅行中漸く香住と天橋にやゝ意に滿つる畫材を得て中央漁村前が稻掛木の垣、背後に樹木鬱蒼たる島嶼があり海水灣入せる圖取りは洋畫式構圖とも見るべく山水畫としては新しき試み。

◆榊原紫峰氏は襖二枚折に緋桃白桃とも云ふべき畫題、生育の強き樹幹に生の力を見せんとするが苦心の要點ではないか、唐宋畫に親炙し諧格を尊重する謹深き氏が裝飾風の華やかな圖に指を染めんとするのは何か抱負がなくてはならぬ。

◆猪飼嘯谷氏六曲の『山田長政昆國征討』は既に燒炭を了つて下繪にかかつてゐる、長政が暹羅國王に賴まれ六昆國を征する時象に金の角を立て鎧をつけ日本武士七百人を率ひて出征した故事を描けるもの甲冑武器の研究には甚だ骨が折られてある

◆竹內鳴鳳氏は二枚折片しに稻荷山命婦の社に美妓の參詣を描いてゐる藝妓の寫生は氏の特色であるそうだ

◆山田耕雲氏は芳文門下中師の衣鉢を傳へ花鳥描きの技腕を有する人出品は六尺に七尺の大幅で『牡丹の圖』傑出せる氏が雞は數樣の…宛らに描いてゐる

◆千種掃雲氏は鳥仙紙二枚折に祖谷の夏と吉野の冬を描いてゐる、氏は今年阿波から土佐に入り沖島に渡り更に伊豫に出で藝州に渡つたが案外畫嚢を肥やすに足らず僅かに祖谷の景に渇を醫すを得て之に吉野の雪景を配し畫題としたのであるそうだ

◆高山春凌氏は春來夫人の重病に祟まれたが忍んで阿蘇山に遊び得た畫材を以て同山の雄姿と放牧を描く事となつた

（上段）天岡均一（向て右）文の力…伊藤小坡（向て左）　野雞大臣…松本華雞

[illegible]くら丸より停留者　…

（人事・旅客欄）[illegible]

天氣　曇り一時晴れ

〔演藝案内〕

本町一丁目　有樂館　電話二六六
日本活動寫眞株式會社特約　九月十五日より特別大寫眞提供　○滑稽（ミロ十度）　○實寫　ケーレル新報○喜劇身代り人形
○新派大悲劇新うしほ（百目藝者）三卷　○探偵大活劇『モルガンの盜難』全三卷
[illegible]

黃金館　電話一八五二（階上）一六三七（階下）
天然色活動寫眞株式會社京城朝鮮一手代理店　Mカシー商會
九月十四日より番組特別大寫眞
▲吉田奈良丸の高弟吉田奈良雀　南部阪雪の別れ　神崎與五郎東下り
▲吉田浪子孃
○新派連鎖劇『己さん』全三卷
○奈西正劇『怪傑魂』全三卷
○天活特作『怪探偵水原怪將一』
[illegible]

櫻井町　大正館　電話八七三
日本活動株式會社朝鮮代理店
九月十三日より特別大寫眞
○新派大悲劇『小夜嵐』全三卷廿八場
○軍事活劇『軍使』全三卷
○新劇『一柳生重兵衞旅日記』全二卷
[illegible]

浪花館の女義太夫
今晚の語物　阿波鳴戶
竹之助十八番もの是非御聞き下さい

特別大寫眞提供
餘興浪花節
▲吉田奈良丸の高弟　吉田奈良雀
女流浪界の麒麟兒たる
▲吉田浪子孃
舊劇　平井權八
活劇　モルガンの盜難
新派　新うしほ
入場料普通　有樂館

御成町　御成座　電話一九一
革新派中村榮一行
第八十九回替狂言（九月十六日）
五月物語　全十一場
[illegible]

明治町　浪花館　電話二六〇
大阪女義太夫一座竹本林之助一行來
十五日（七日目）番組
△御祝儀寶の入船　△繼娘昔八丈　△鈴ケ森　△八陣八ツ目　△白石噺七ツ目揚屋　△正清本城　△朝顏日記宿屋　△日吉丸小牧山城中　△盛衰記逆櫓　△阿波鳴戶　△八ツ目十郎兵衛內の段
（雨天に拘はらず毎夜正六時より開演仕候）

▲正誤　九月十五日發行京城日報第三面福田順裕氏死亡廣告中「本月十二日死去」とあるは「本月十四日死去」の誤りに付訂正す

移轉廣告
本院仁川分院儀仁川本町三丁目四番地（井上藤吉商店下）ニ移轉ス
九月十日
從前ノ通リ治療ニ從事ス
野田齒科醫院

かつけ特效新藥
陸軍一等軍醫正ドクトル都築甚之助氏發見
日米獨政府專賣特許
アンチベリベリン
用法は…內服と注射
目的は…豫防と治療
常用は…萬全の上策
注射は…衛心の救急
適應は…かつけ一切
定價　[illegible]
說明書送呈郵券二錢
發賣元　東京市麻布區辨町　南信堂藥局
代理店　京城本町二丁目　木下不老堂
かつけ特效新藥

琴古流　尺八樂譜解說
琴古流　尺八樂譜
東京小石川區大和町　尺八教授　水野呂童

小兒良藥　樋屋奇應丸
소아의 질신 간질 급발성 열증 등에 특효
等に奇効神の如し
到る處の藥店に有り
樋屋合資會社　大阪天滿橋

為め運轉中絶し現場三丁程の[illegible]歩にて連絡を保ち居たるが十四日早[illegible]車の故障あり三時三十分遲延し九時[illegible]五時四十分釜山着の急行列車は機關[illegible]韓より多數の人夫を使役し轉覆電車[illegible]

[illegible]夏休前後體重比較統計を見るに平均九十二匁増[illegible](二十二人)[illegible](三人)前八十七[illegible]

●釜山停留者 十四日午前[illegible]

十三日午後入港新羅丸より停留者 田中清之助、同はる、吉本嘉一郎、濱本庄太郎、愛田幸之助、小川正英、安田しも、同香松、竹田[illegible]

[illegible](一等五名)大原庄太郎、服部彌太郎、外人三名(二等四十四名)天上つる、森川ひさ、梅野さつき、同ひさ子、同明、古川清秀、松本いち、同きし、山崎與一、永野敏藏、同ゆき、上田芳太郎、諸方作市、同のぶ、同きみ、山本龜太郎、川本は[illegible]

十四日午後入港[illegible]丸[illegible](一等三名)渡邊使吉、外人三名(二等十名)上法眞廣、福田武規、倉渕賢次郎、同朝子、中嶋とき、同みつ子、佐[illegible]貢一、香江植太郎、宮崎貞之、阿川しな(三等五十一名)

白い前掛て野菜畑へ

△南山幼稚園の頃日
△トラホームが無い

◇南山の幼稚園は十一日から新學期が始まりました、頃日は朝の九時からお午まで毎日白いエプロンのお孃さんや坊ちんが愉快さうに跳ねまはつて居ります

◇時候もだん〳〵凉しくなりましたから此の數日内にはお辨當をもつて通ふやうになりませう

◇兒童の數は合計百二十九名の中昨今百五六名の出席があつて缺席は十四五人に過ぎません夫れも病氣などの人は一人もなく皆お父樣やお母樣など、内地の方へ行つた人ばかりです

◇これを内地の出席數に較べて見ますと暑い時も寒い時も京城の方が非常に成績がよく内地の出席比例は八割七分内外ですが京城のはいつも九割三四分に上ります

◇また兒童にトラホームのないことは京城幼稚園の特色で此の點は非常に悦ぶべきとであります

◇園生はまた黄金町に花畑や野菜畑を有つて居ります、此の廿一日には各自がお休み中に培養した朝顏の花を返してそれから皆なの野菜畑に行き夏に培つた廿日大根をとりに參ります

●改善された夜學校 京城靑年會夜學校にては今月より共組織と内容とを根本的に改善し主として實用的英語作語と商業用通信非騎文を教授し會計銀行商店等に直ちに實用に供せらるゝを唯一の主眼として居る實用的會話教授としてクーンス、ルーカス、ブロツクマン諸氏之に當り課餘商業用簿記文は切田商學士淮田農學士外國語學校出身者なる保田氏が交々懇切叮嚀に教授し猶本學期より英學新聞講讀科を設け京都帝國大學文科出身者渡邊氏之に當るべしと蓋し實用的英語會話を短時日に修得するには京城中唯一の夜學校たるを失はず因に同夜學校は七時半より毎夜二時間宛教授する由

◉月見會詠艸

△月

○歌がたりかたりあかして立ち出づる門の柳に月ぞかゝれる　成田忠良

○宿るべきよすがもなけの高麗人の姿をてらす秋の夜の月　佐藤道谷

○いたをわびて獨りぬる身もしかすがに月てる夜半は猶しかりけり　渡部啓次郎

○市人はうまいやすらんさしたる道戸に月のあたらさやけき　坪内孝

○亡き人の上はかりこそ語りけれ友は夜すがら月にそむきて　佐々木信一

○亡き人のかげもうつせよこの宵の光りさやけき大空の月　渡邊啓次郎

◉京城バザー開舖 京城本町二丁目京城バザーにては内地直輸入の日用品化粧品雜貨等を正札掛値なしにて販賣す可く十六日より開舖し初日前九時より午後十一時まで營業す可しと開舖當日より五日間は景品を呈すと

◉相原訓導着任 愛知縣第一師範學校附屬小學校訓導相原貫司氏は府内日出小學校訓導として十四日着任せり

—△會のいろ〳〵▽—

□鷄林同人會 十六日(土)午後六時より旭町三丁目八番地佐野氏方にて開催和歌の研究

□萬葉研究會 (十九日)午後四時より南山町高等女學校にて開催成田校長の講演あり(研究は卷の五)

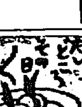
□坂出技師の講演會 昨秋來歐洲へ視察旅行をなされたる總督府坂出技師は十四日の午後四時から女子高等普通學校で一場の講演を試みられましたお話は西洋の家庭に關するもので非常に興味深きものでした其の概要は本紙に載せます

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町)十五日午後八時より宗組上人の逮夜説教あり尙ほ十六日午後二時より婦人會あり

○東本願寺(南山町)十六日午後七時より土曜講演あり

○京城基督教靑年會 十五日午後八時より英語倶樂部あり



△柳川なべ 大きなるどぢやうをよりさきて中骨頭を取り薄き鹽水にてざつと洗ひ置き新牛蒡を細くさゝがきとしてあくをぬきてゆで置き鍋にミリン七分酒三分の割り合ひにて一寸煮立て其中へ牛蒡を薄く敷きて其上に鰌をならべてだしを加へ落ぶたをして五六回煮立て醬油をさして又三回煮立ておじを試みて一寸鹽を火よりおろし生玉子を割りてよくほぐしたるを目杓子につき込みながら鰌全體に流し又落ぶたをしてほんの玉子が姿へる位を度として火よりおろしたを取り替へて温かき内に進む(青木はつ子)

▲十六日下見十七日正午開札
書畫骨董入札
南山町三 佐々木聚古堂 電二三三

番茶のあと

先日のと京城のある骨董屋さんが杏雨の山水と應擧の花鳥の幅とを買つて貰ひたいとある友人から頼まれた△そこで早速鮮銀の水越さんの所へ持參に及ぶと杏雨は良いが應擧は良過ぎて朝鮮にありさうな品でないと斷はれた△それではといふので三島さんの邸へ行くと杏雨が面白いから序に應擧も引取らうと早速手合せが出來上つた△ところが明日は數百圓の代金を戴かうと悦んで居る矢先きに三島さんから急に破談の申込みが來た△『君も隨分ひどいぢやないか』と云はるゝまゝに擬石版摺であつた△そこで骨董屋の大錢で見ると應擧は巧妙を極めた方でも惡意でなかつたから恐縮して肝腎の杏雨を大割引で渡したといふ噂

お休日記

△明日から學校　櫻井小學校尋五　江藤功

○八月卅一日(晴)涼しかつた夏休もいよ〳〵今日一日となつた、今から休み中の事を考へて見ると、自分の心の中にきめた樣に勉强はよくできなかつたが、體だけは鐵の樣に丈夫になつたと思ふ。先づよかつたと思ふ事がらは、毎夜、母の肩や足などを、もんであげたこと、朝早くおきて火をたき附けたり、弟の守をしたり、方々によくおつかひにいつたとである。惡かつたと思ふ事は、母の言付けを聞かないで、たこ上げにとび出した事である。體については毎日水泳に休まず通つたから少しも泳げなかつた僕も四五間位泳げる樣になつた。

△往十里へ魚とり　櫻井小學校尋二　伊藤哲彌

○七月二十九日(土)晴れ 私はお父さんと二人で、往十里の方へ魚とりに行きました。あさい川だと思つたら、おとうさんの、のどのところまでありました、おとうさんはあみをうちました。はやふなどがたくさんとれました。おべんとうをたべてから、ずんずん川の、むかふの方まで行きました。いろいろな魚がとれて、かごに一ぱいになりました。お日さまが西にかくれて、だんだんくらくなつたので、でんしやでかへりました。うちへかへるとおかあさんや、ねえさんが、たいそうよろこびました。ゆふはんには、魚のごちそうをいたゞきました。

△ひるにくわれたこと　櫻井小學校尋三　高木郁子

○七月二十七日(木)曇後雨 私はお父さんと、淸涼里の川におさかなを捕りに行きました。お父さんが川の中へはいつて、あみをしやくつて見られたら小さいえびがたくさん捕れました。おもしろさうですから私も川へはいるといつて、はいつたらひるが足につきました。びつくりして『お父さんひるがついた』といつたら、お父さんが取つて下さいました『ああこわ』その中に時間がたつて『もうかへらう』とお父さんがおつしやつたので、私も『かへりませう』といつた。ところへにはかに雨がふつてきたので、びしよぬれになつてかへりました。

△田舍に行つて　櫻井小學校尋四　山田徹雄

○八月一日(火)晴 朝九時五十八分發の汽車で、私の家のあるいなかに遊びに行つた。裏の山には古い井戸がある、水は清くすんで居て、底からもく〳〵とわき出る水の綺麗なのもよく見ゐる。もしこの水を飮めば大雨がふつて作物を荒すと云ふ、古い、おそろしいいはれがある。ひるごはんを食べて、おぢさんと川に魚をとりに行つた。川をのぞいて見ると、魚がいくらも〳〵、うろ〳〵してゐて手でもすくひ取れさうである。見ゐ〳〵中に大きなびくに一ぱいになつた。さつそく歸つて、これを燒いて爺さんに持たして京城に送つた。

△元山の海水浴　櫻井小學校尋六　岡田富士子

○七月二十八日(晴) 朝起きて田代さんと二人元私の家であつたなつかしい官舍の周圍を散歩した。夕方から二人で元山の海の海水浴に行つた。田代さんは、ずん〳〵沖の方まで泳いで行かれたが、私はどうしても泳げないので、なさけなくなつた。島井さんのお姉さんから、浮袋を借りて、やう〳〵泳いで田代さんの所まで行つた。そこで一生懸命に蛤や、あさりなどを拾つた。そろ〳〵暗くなつたので、砂原に上つて日なたぼつこをして居ると、元山の學校の大石先生が見ゐた。私の顏を見て『あなたは岡田さんでせう、大きくなりましたね』と言はれた。もうそろ〳〵歸りませうと、二人で島井さんの家へと急いだ。歸る途中三年の時あの先生にお世話になつた事を思ひ出した。

商況

東京株式特電

	十六日前場寄付	大引
日本郵船	—	—
京城電氣	—	—
鐘淵紡績	—	—
同新株	—	—
日本麥酒	—	—
東株舊	—	—
東株新	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—
諸株弁應す		

債券現物特電

十五日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	—
京城電氣	—
朝鮮銀行	—
朝鮮[illegible]	—
南滿鐵道	—

東京公債直取引特電

十五日出來値段(前日との比較)

五分特別	九七、三〇
五分准	—
四分	—
一回四分	—
二回四分	—
甲五分	九七、二〇

深川在米特電

十五日現在高

朝鮮米	三〇、七八〇
[illegible]米	一七一、九六二
內地米	一、五七八、〇九三

東京期米特電

十五日前場 十二月限

寄付	高値	安値	止め
一四、七七	一四、七七	一四、七五	—

大阪株式特電

十五日前場

鐘紡	[illegible]
大阪商船	[illegible]
大阪電燈	[illegible]
日本郵船	[illegible]
東洋紡	[illegible]
大阪瓦斯	[illegible]
同新株	[illegible]
攝津紡	[illegible]
阪神電車	[illegible]
京阪電車	[illegible]

大阪三品特電

十五日前場

	寄付	高値	安値	止め
八月限	[illegible]			
九月限	[illegible]			
十月限	[illegible]			
十一月限	[illegible]			
十二月限	[illegible]			
一月限	[illegible]			

大阪期米特電

十五日前場

八月限	一五、三五〇	一五、三五〇
九月限	一五、三二〇	一五、三五〇
十月限	一五、三〇〇	一五、三二〇
十一月限	一四、三〇〇	一五、三三〇
十二月限	一五、三〇〇	一五、三一〇
一月限	一四、二九〇	一五、三〇〇

下關期米特電

十五日前場

	寄付	止め
當限	一四、一三	[illegible]
中限	一四、三一	[illegible]
先限	一四、五六	[illegible]

雜報

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

居りしに大阪大手筋の内部に賣向け品案外多く去十日受渡は圓滑に決濟されし結果之等の現品一時に市場に出現せると月先思惑筋の投賣を見越し需要筋の買控へたるによると云ふ

●綿糸跳返す 米棉安を受け遂に各期五十圓割れ迄暴落せし三品市場の綿糸も其後十圓の騰門事等となりしとはいふ程の材料のなかりし爲め一傳展開の模樣見えざりしが十四日に至り俄然人氣一變立直りの機運に接し當限の二圓以降の各限一圓方に跳上げ此處に相場は稍や上放れとなり今前場は除勢更に三圓を現出し**前の高値を援**かんとする勢ひなるが昨今の商勢は一に米棉の實行如何にあるが如く今回の好勢も前日**米棉六十五錢高が動機**となりし居れば**原棉の如何**によりて如何なる波瀾を生ずるや測り難かるべし

●綿布引戻す 一時反撥の前引 弛みを告げし綿布相場は十四日の大阪入電によれば**五錢高**とあり現物は五圓二十八錢なり蓋し寂りは米棉高に依る綿糸の好勢と**印度綸出綿布の新に約定行**はれしとにて買氣を刺戟せしものなりといふ

●粉米は不味 [illegible]の不引合にて昨今地場物は[illegible]過ぎず從つて氣配も不味を呈し居れり相場は一等品にて十二圓四五十錢處を唱へられつゝあり

下關相場

▲朝鮮白米も軟況 既報の如き事情の下に割段値引急き物ありて[illegible]低落に迫り自然買氣の進まざる爲め賣れ行き捗々しからず市況軟弱を極め之れが[illegible]米値は左の通りにて其後の輸入は皆無のみ

▲小豆は失敗薄商 本品は其後出廻り途切れたると産地も別に安値を傳へざる爲各手持筋の賣り急がざるに依り格別市況安しと云ふ程にあらず然れども何分昨今米低安の折柄とて一層買人の手控へ居る爲め取引き鈍捕にして市況面白からず

◉ 仁川米豆取引所仲買人 **仲買店** まるにち 支配人 十居勝 電二八二番 圏二八三番

京城正米

▲大豆は不引立 其後本山産百俵等の廻着に過ぎざるのみならず朝鮮物の如きは何分品薄の折柄とて自然氣方弱からずして目下在留醸なからずし[illegible]氣の進まざる爲め市況引立つくもあらず本山産百俵口は十圓五十錢に而口々な合せ八十俵前りは十圓六十錢等に手合せ行はれたり

△朝鮮一等白米(常用) 十五圓四十錢
△同(常用地白) 十五圓五十錢
△同 十五圓二十錢
△同二等白米(常用) 十五圓十錢

京城雜穀

本日は地方買附の積殘りと京釜線の一時不通なりし爲め急ぎ日の當地着きに仁川にて買附たる分とを合して二千二百叺内外の廻米あり且つ地廻りの物も彌々手合せ行はれ鮮内ヤシヤりの市況にて氣配は持合ひながらも稍々弱合みの風情あり

大豆は依然變はらずと雖も小豆は新物の出廻りを控へ古品は昨今買急ぎに傾ける折柄納入氣は次第に狀勢の相場は種の高値より約四十錢安の見當にて他小麥は不賣ながら相場は馬洞及砂里院の極上品にて八圓見當にて維持し綠豆胡麻等又同樣の成行きなり

仁川現物市場

▲籾入津少なし
▲正米入津五百餘叺氣配同確
▲小麥入津五百餘叺氣配保合

釜山市場 十四日

▲正米(十錢高) 本邦定期米は昨寄付は好勢なりしも何樣天候順良の事とて先限り八十一錢とを安報ありし本日寄付は當市場は未だ出廻り品甚尠なく從て賣り物至つて稀薄にして米主側は期米安に拘はらず品薄を氣構へ容易に手放さず買人の精米口も原料の必要に迫まり高値不引合を唱へながらも賣人の呼び値に引付られたる商

●毛斯綸見送り 頃日來必需筋の買進みありて稍上進歩調にありしが昨今赤百番四十六錢挽み位一錢方下押せり蓋は去月以來東京問屋に於て在荷僅なりしが八限受渡には空賣多かるべしと觀測せられ

●牛皮の其後 牛皮は其後綜許 外大阪市場の落付居れるに反し該許は先高を見越して人氣大に先走り昨今に於ては正味の七十七圓以下にては買附至難の模樣なるに大阪は矢張前報の値八十二圓を維持し一般買上げ來るべき振合ひなきを以て此處買易筋も現物を安心に見越し下値段の**不引合**[illegible]係同業者の**盛ん買廻**しの如みは昨今[illegible]此度の軍靴註文の引受け總數は未だ明瞭ならざるも**百二十萬足見**當といふ[illegible]部の引受け數決定すとも噂へ[illegible]居れば引續き陸軍の[illegible]狀を呈せるは或は之等の事情を含み居れるものならんと推摩せられつゝあり

狀なれば氣配は至つて手堅き趨勢を示し十錢高となれり
▲大豆 新古とも抄々敗出廻りなく小取引のみにして氣配は餘り變動もなく同事なり

合計	一千九百九十三個
玄米	一千八百六十一個
古小麥	四十三個
新小麥	十八個
新大豆	二十八個
古大豆	四十二個

南大門の廻穀

優良玄米	三一叺	水原特白	二七二叺
優良玄米	三五二叺	全義白米	一九叺
仁川玄米	三五〇叺	一山白米	一三叺
仁川玄米	二三九叺	仁川白米	一〇〇叺
開城玄米	二一三叺	城山白米	七〇叺
土城玄米	一二九叺	衿山白米	二〇四叺
沙里院玄米	二七叺	金泉玄米	一九八叺
仁川玄米	三一〇叺		

㊉ 仁川引米豆取所仲買人 **仲買店** 電話長九〇五番 電信略號 [illegible]

仁川期米

▲十五日前場 寄付 長當十四圓四十九錢 大阪天候晴天

前寄十四圓五十六錢と**昨止より二錢安**の**入電二節五十七錢**の**移り**にて當地當十三圓丁度中十二圓八十六錢より九十錢丁度引先十二圓二十錢丁度と一錢安に寄付一錢と戻りたるも大阪[illegible]**三節四十八**錢[illegible]に賣物多く十九錢**安移**と辷りたるが押目は買物多く無碍にも崩れず大激戰裡に十八錢と押し二十錢と返して二節を終りたるが三節に**四十一錢**と大阪四節**瓦落を移**して賣物多く更に十七錢と押したるも押目は又買物ありて如何にも底堅き形勢を示したり五節に至つて買物更に多く二十五錢と上伸し四錢と頗ぶる強硬の成行を示して散會

▲十五日前場 前場當限⊖十三圓出來高百石
▲中限⊖十二圓八十七錢八通平均値八十八錢⊖十二圓九十錢出來高千石
▲先限⊖十二圓二十錢[illegible]

市場零聞

▲前場跳ね返す 天候 依然惡照り非後場不勢の裡先き大阪の小鈍き入電にて十二圓二十錢と寄付たるが㋑㋑㋑全其他より賣物多く一面今より優勢なる買物現はれたるに大阪の跡安に十八錢と押したるも忽ち二十錢と跳ね返し大阪の反落を報じたるより十七錢と押し依然買物絶へず遂に下支へたるが五節に至り㋑㋑等より現はれ二十五錢と跳ね返し四節[illegible]

▲前場の手振 重なる商內賣 方㋑㋑各八千餘石㋑七千餘石㋑五千餘石㋑四千餘石㋑各三千餘石㋑二千餘石等に對し買方分一萬千餘石等にて他は小口商內であつた

▲㋣能く賣る 今前場同店より賣りたる玉數八千餘石に上りたるも大に市場の注目を惹いたり

▲㋑能く賣る 今前場同店より賣りたる玉數八千餘石に上りたりとの事一面七千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲㋷能く賣る 前場同店より賣りたる玉數五千餘石に上りたりとの事一面四千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲㊅能く賣る 前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事にて大に市場の注目を惹いたり

▲㊐能く賣る 前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事一面千餘石の買ありたるも市場の注目を惹いたり

▲今大に買ふ 前場第一節に於て買建てたる玉數約一萬四千石の大數に達したりとの事尙引續き指値買注文ありたるも二千石程より出來ざりしとの事にて無慮一萬六千餘石に達せりと如何に腰入深甚なるかを知らしめたり

▲邑能く買ふ 前場同店より買ひたる玉數三千餘石に上りたりとの事なるし一面六千餘石の買建てにて大に市場の注目を惹起したり

▲圣能く買ふ 前場同店より買ひたる玉數五千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

▲㋫能く賣る 前場同店より賣りたる玉數七千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の買ありたるも市場の注目を惹いたり

▲當中依然たり 久敗商內 **當月限**は今前場十三圓丁度にて少數なりし**中限**は十二圓八十六錢より九十錢丁度がら賣買行はれたると**期近**は流石に跳ね返した**正米**の**強硬に牽制**せられ賣り物の面にて先限關係の影響なく**恰も別世界**の感ありたり

▲正米の近況 今や正米界は端境時に際し仁川在米は十萬餘叺の大數に上り居るも投賣物としては今の受取米を賣放し居る外**皆無**にて各精米所も格付の際に必需口に迫るとの事なるが相場は建値の十二圓九十錢にて升は受取桝の値とのである今市場の升と對照すれば一石に付き二升以上の缺ありとの事なれば**上米の賣り物**は皆無と云ふべし

▲標準米としては十三圓 **二十錢の價値**ありとの事人氣は期米安にて安唱へなるも前記の如く賣物なき折柄依然保合を支持し居れるとの事

支へに依るならんか抑説一時的の現象みたるも遂に對抗する能はざりしに買ひ込みたる**硬軍の優勢**なる買にもせよ能く此軟弱なる場面を支へたるは實に硬軍の爲め成功としいはるべし扱て今後如何なる變動を演出するなるや素より知る處に非ざるも左しも旺盛なりし賣人氣も茲に一頓挫を來す事なきや

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 **三巴仲買店** 電話三二二三 電信略號(三巴)

と散會を告げたり市況は依然賣人氣にて大阪の跡安と相俟つて大に賣叩かんとせしも一面有力なる買物に阻まれたるより反つて利喰急ぎの買を呼び益々堅き成行を示したるが如何き今後の變動や果して如何

▲硬軍活躍す 屢報せし如く一般の人氣は依然**總賣人氣**とも言ふべき場合

▲一面**硬軍も己に相應の買**玉を有し居れる等に乘じて大に賣り込み居れる等にて賣入頗ぶる深甚なり今後の成行次第に依り前場硬軍の活動する處となり大阪の戰闘益大ならんと思はれしが俄然今回の賣りたるが今より之に向つて買支へたるより第一節の如きは實に素晴らしき市況であつた今の揚まず實支へたるより遂に大阪の瓦落を受けたるも反つて利喰の買物多く**逆に跳れ返**したり是必竟人氣に臨られ[illegible]

仁川米豆取引所

十五日の十一月限

前場	
寄付	十二圓二十錢
止め	十二圓二十四錢
高値	十二圓二十五錢
安値	十二圓十七錢
出來高	四萬三千五百石

平均値段	
一節	十二圓二十錢
二節	十二圓十九錢
三節	十二圓二十錢
四節	十二圓二十錢
五節	十二圓二十四錢

賣買取組高

		十三日後場	前日と比較
九月限	一萬石	[illegible]	五安
十月限	一萬七百五十石	[illegible]	三安
十一月限	十二萬百石	[illegible]	二安
十二月限	[illegible]	[illegible]	三安

ロート目藥の大懸賞

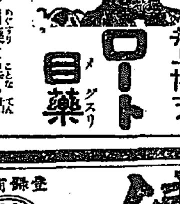
一度試した人はロート目藥でなくてはならぬ樣に評判せられ其から其へと面白い樣に廣まつて行きますが此度又皆さんの御慰に誰でも出來る懸賞を致します

問題
(一)ロート目藥と他の目藥と異る點は何々ですか
(二)ロート目藥の紙箱に目の字は何個ありますか
(三)此廣告を見たる新聞の名

賞品
一等 貯蓄債券(五圓券) 二人 一枚宛
二等 銀側腕卷時計 五人 一個宛
三等 懷中紙入 二十人 一個宛
四等 モスリン風呂敷 五十人 一枚宛
五等 優等銀貨入 百人 一個宛

規定
ハカキにて住所と姓名を明かに附記て、〆切の十月十日迄に、大阪東區南久寶寺町二丁目山田安民藥房廣告係へ宛て、御送りになれば、當方では之を纏めて新聞社員立會の上、嚴重に抽籤し十月廿日頃の新聞に發表します

目ニ見ヘテ ズンゝ キク
ジュマズ イタマヌ
井上博士
ロート目藥



ロート目藥と他の目藥と異る點
(一)シュマズ、イタマズ、目に見へて効く
(二)新案の點眼器並に消毒した布が添へてある
(三)井上博士の病院に於て多年實驗したる責任ある處方である
(四)其上に大前藥學士が鑑査したる處方製劑である

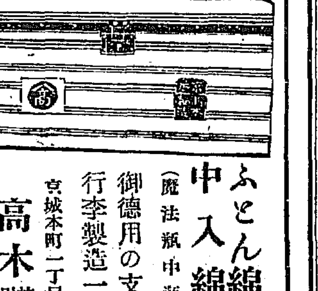
◉定價(大瓶五十錢 中瓶二十錢 小瓶十錢)
全國及海外要所の各藥店にあり
胃活 ロート本舖 東京市日本橋區本銀町 大阪南久寶寺町二丁目 山田安民藥房

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話二七二九 一三九〇番

吉田學明

人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
京城本町三丁目 大日本陰陽學會朝鮮支部

鐵鋼 船具 木材 セメント
鎭南浦三和町 合資會社 中村組商業部 電話一一六番

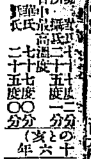
東京製鞄 旅行用具一切

ふとん綿 中入綿其他 (魔法瓶中瓶取替)
御德用の支那鞄柳行李製造一手販賣
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一二三四番

內科小兒科 京城旭町一丁目 小林醫院
入院隨意(普通病室並に隔離病室) 醫學士 小林千壽 電話六九二番

登錄商標
くだりばら はらいたみ 下痢と腹痛には油斷せず服用あれ 直ぐから効驗著はる
けんいこちようがん 健胃固腸丸
◉飮み過ぎ、食ひ過ぎ、氣候の障りにて腹工合の悪しきに用ゆれば急を救ひて天壽を全ふす
定價 十錢 廿錢 卅錢 一圓 三圓 五圓
大阪 谷回春堂 振替貯金口座大阪百七十番
取次各地藥店にあり

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
★ 株式會社 百三十銀行 京城支店 京城本町壹丁目
電話長五八番 一一九四番 振替貯金京城一二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

廣島名産 山まゆ織 冬物品揃 見本市越次第無代呈上
廣島市平田屋町電話一八一五 山脇喜久二商店 振替口座東京一六六五六番

報


京城測候所 前日中最高溫度 [illegible] 二十五度一分 [illegible] 七十七度 二十五度〇〇分
十六年(亥)
[illegible]

汽車

宮本武藏

第百六十回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

さて寛永十四年九月十三日天草の一揆三萬五千餘人、益田四郎時貞を大將として天帝如來の旗三百餘旒、海風に翩と飜がへし、大船小船數千艘に打乘り、天草島に火を懸けまして一圓に煙となし、肥前高來郡島原へ押渡り原山の城へ乘込んで參りました、孫て原山に乘込んで居た山田右衞門作、吉田三平、渡邊傳右衞門其外有馬休意、上津浦三郎兵衞など其人數一萬餘人の一揆を引連れまして出迎へ原山の古城へ案内いたしました、茲で芦塚忠左衞門指揮をいたし、大手搦手外濠内濠高櫓、人質曲輪、火藥庫、兵粮庫に至るまで改築いたし十月二十三日悉く落成いたしました、何にしせよ兵學の道に長じたる芦塚の繩張りとて其要害の堅固なる事、難攻不落の名城と聞へたる大坂城に優るとも劣らず、一揆の面々三萬五千餘人、今にも天下の大軍來らば目に物見せて呉れんずと勇氣勃々として籠城いたして居ります元より此城松倉の番城で兵粮彈藥武器の類ひは山ほど貯へてあつた其れを殘らず分捕つて了つたので、其外一揆の重鎭として大江村の治兵衞が二十萬兩の金子を出して居る、此金で泉州堺へ手を廻して武器の類ひを夥たゞしく買入れましたから少しも不自由はない、其他一揆の大將分軒山善右衞門、駒木根八兵衞の兩人が武衞流の火術を能くいたす所から城内の火藥庫から煙硝を取出して石火矢棒火矢など〻いふ火器を夥たゞしく造り上げ、又張抜筒を用ゐて寄手の人數を鏖殺しにして呉れやうといふ考がへ、此火器には流石の追討使も弱つたさうで、松平伊豆守も百方苦心して和蘭から唧筒を取寄せたり何かして火災を防いだが、什麼も充分に往かず、陣屋を燒かれる事度々であつたといふ、さて豐後府内の代官石谷、牧野より八月四日の注進状、八月二十四日八ツ刻に江戸表へ到着いたしました、早速開封するに寺澤兵庫頭領分肥前天草の百姓共切支丹を取立て一揆を起し云々との注進状であります處が老中方は少しも驚かない、何の百姓一揆と思つて居る所が八月二十七日寺澤の上屋敷へ早打で島子村西方寺燒打の一條を注進、寺澤家年寄より月番老中松平伊豆守へ届け、伊豆守より將軍家へ上申いたしました、开で評定といふ事になり大老土井大炊頭、老中酒井讃岐守、松平伊豆守、堀田加賀守、阿部豐後守、若年寄三浦志摩守、太田備中守、安藤對馬守、土井遠江守、町奉行神尾豐前守、酒井因幡守、寺社奉行堀次兵部少輔、安藤右京進、其外勘定奉行大目付目付總出仕となり紀尾水の三家松平一門綺羅星の如く居並ぶ此時松平伊豆守席を進んで『拙者愚案を廻らすに土民一揆と申すは總て其國の領主取立厳しき時困窮を言立起る事は往昔より往々ある事にて今般の一揆も多く其例に洩れまじく、依て先づ領主を本國へ歸され、別に府内の目付石谷牧野の兩名を差添られ取鎭め方仰付られるやう、百姓共の中頭立つたる者は死罪に行なひ、其後切支丹宗門の者共を成敗なせば穩便に治まる事と考案致す』と述べたる時紀伊大納言頼宣公之を聞かれ『其方の申す事其意を得ぬ、此度の一揆は尋常の一揆にあらず國禁の宗門を取立て大勢を集め自から江戸表へ聞ゆるやう計らつたるは智謀勝れし者あつて洵は天下を望み愚民を煽動し、態と奉行代官を殺し、猶又寺院を燒拂ひ天罪の遁れ難きを愚民に言聞かせ、全たく反叛の志あつて一揆を起したるものと見へる猶豫して切支丹の本國羅馬より援兵にても來らば由々しき大事、先づ第一に、寺澤兵庫頭を本國へ戻し長崎表の船舶を檢め、九州の大名留守居役へ下知を傳へ、又在府の諸大名は早々暇を遣はされ本國へ歸つて城攻の用意致させるやう、何事も神速なるを以て宜しと考へる』と意見を述べられた、所へ又々松倉長門守より早打にて一揆島原に押渡り旣に山の城に立籠つたりとの注進である、から將軍家はじめ大老老中、捨置き難しとあつて紀州家の意見に隨ひ、九州の大名在府の者に申渡し本國へ差戻し、追討の命を下す。

買ひに行きましよ　木村屋さして　パンとお菓子とキャラメルと　（京城明治町　電話二八七〇）

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調製販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮　鳥羽毛類　鳥獸剝製標本
京城本町二丁目　樽元商行　電話長二〇六五番　振替京城三四九九番

九月十七日　九星
舊八月廿日　丁巳
本命四綠　戰　成　先負

▲四綠　絶のきかぬ事有る日新事見合　北方は吉　▲五黄　眩惑事有る日注意　新事手控萬事……

女は何より髮かたち

大切な髮の事　是非讀んで下さい

■髮結さんに小言　髮の結方にも無論上手下手がありませうけれども、髮結さんに對する婦人の小言の中には、何方かといふと隨分無理な場合も少くない樣です。例へば如何に髮結さんの手が冴へてゐるにしても、肝腎のお客樣の髮の毛が惡かつたら何うでせう。髮が薄かつたり赤かつたり白毛まじりだつたら何うでしやう何うしたつて結榮のする筈はありません。

■髮が美くないでは……　婦人は實際何よりも髮かたちです。其髮かたちを結榮させるのには、根本の髮が美しくなければなりません。ですから髮毛の赤い人、薄い人、又白髮まじりの人々は、先づ髮結さんに小言を仰在る前に、髮の缺點を充分に補はねばなりません、即ち先づ髮毛を、完全な染毛劑で染めなければなりません。

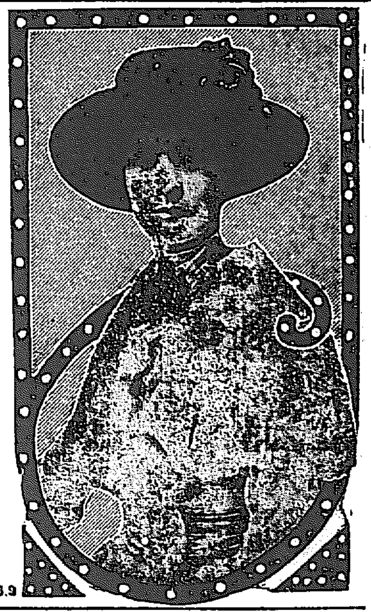
■充分に結榮する　併し染毛劑といつても種々あつて、惡いのを使ふと、唯々時間と手數とが掛る計りで、肝腎の染色が變な色になつたり、又は「はい染めました」といふ風に如何にも態とらしくなつたり、髮の質を惡くしたりしますから、染める以上は歩々位値が高くとも、完全な染毛劑として今一番信用のあるナイスを使ふに限ります。ナイスなら染めるのに何の手數もなく僅か二十分間で、性來髮の美い人其儘の色澤に、それも唯の一遍で見事に染り、襟や枕に色のつく心配がなく一度染めれば長い間保ちますから染めて充分染め榮ゐがし髮を結つて充分結榮ゐがします。

■皆さんが皆これですから今ナイスは大變な評判で、凡そ髮を染める方は必ず是でお染めになつてゐます。各博覽會で名譽の金銀牌受領の光榮を得たのは、獨りナイスを以て嚆矢と致します。定價は大瓶七十錢、小瓶四十錢、新小瓶三十錢。發賣元大阪心齋橋筋丹平商會。東京宿屋町丹平支店、全國海外の各化粧品店藥店にあり、思ひ立つたが吉日ですナスグ一度お試し下さい。

美顔ユーマー

各宮家御用　美容術大家

マリールウヰズ孃は



9576.128.9

實驗上本品の巧妙なる作用に就て語る

皮膚の色艶が美しくなり何時こはなしに地膚の色までも白くなる事が私の實驗上確かめられましたそれから「ビーター」白色劑は日燒を防ぐに非常な効果があり、「アルハ」粘液素は「アレ」を止めるに理想的であり、特に白粉のトキ水や白粉下に使へば、白粉に何ともいへぬ美しいツヤを生じて、お化粧の美しくなる事は全く驚くばかりであります。私は美顔ユーマーを實驗して、其配合の巧なるこ効果の著るしい事を痛切に感じましたので、昨年の十月始めて各宮家の御用品こして御勸めしたのでしたが、こんな進んだ化粧品が追々出來ますのは、婦人にこつて誠に喜ばしいここ存じます。

ユーマーの中に含んでゐる「アルハ」粘液物性粘液素は、皮膚を柔かに滑かにする性質があり、そして毛穴を開かせる作用を持つてゐます。これで毛穴の開いた所へ、色を白くする作用のある「ビーター」白色劑こ皮膚を發園にする作用のある美容素こが附いて、開いた毛穴から吸込まれるやうに出來てゐるのですもの。其配合の巧妙なる驚く外ありません。

こんな立派な化粧液は恐らく舶來品にも無いこ思ひます。斯ういふ風に毛穴を開かせて白色劑こ美容素こを吸込ませるのですから、皮膚衞生こ美容上の効果は誠に確實で、暫く使つてゐる間に大層

■新美容素を發見したる　桃谷研究試驗部
▲顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　　醫學博士　山本淳二氏
▲主任　藥學士　桃谷幹次郎
▲主任　千葉藥學士　小磯勝次郎
　　　　千葉藥學士　齋藤銳助

命の母

可愛い子寶産だのも　第一等の婦人藥　命の母は…の御蔭なり

女のやまひの方々は早く召されよ此靈藥を！

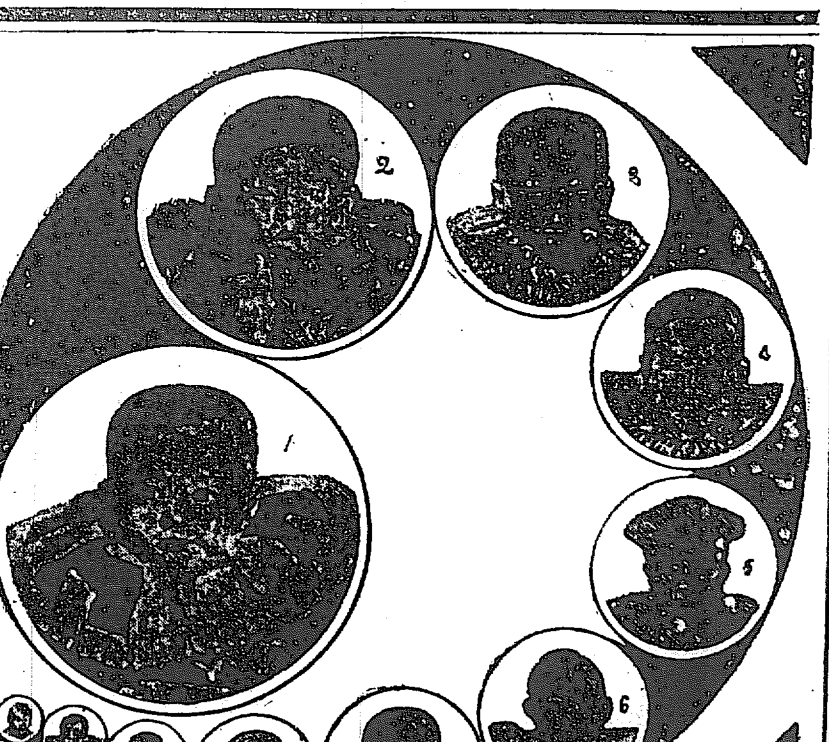
藥價表
七日分　廿五錢
二週分　八十錢
五週分　一圓五十錢
十週分　三圓
此外加減命の母藥價は約二割増

萬國到る處の有名なる藥店にあり　販賣店なき時は本舗へ切手にて申込めば直送す

婦人科專門醫學士佐藤北畠西敏先生著　婦人病者心得　ハガキで申込ば進呈す

コンナ容體の人

●白帶下ながち血に苦しむ人
●腳腰冷えて頭痛する人
●子宮病にて下腹の痛む人
●逆上にて脊肩のこる人
●ヒステリー血の道の人
●月經滯り或は不順の人
●つわり又胸先へ差込む人
●卵巢炎、喇叭管炎の人
●浮腫痺れ血氣の人
●腦神經衰弱の人
●貧血顔色惡き人
●頭痛眩暈に苦む人
●癇高ぶり心悸亢進の人
●安産肥立ちを望む人



最近實例の一班
(1) 神戸市元町三弓張　文平
(2) 長州萩町小畑氏　愛兒
(3) 高松市福田町寳藏
(4) 高知縣高岡郡川口町原　文代
(5) 上州利根郡西村津浪　浣美
(6) 常陸國東茨城郡小松太郎
(7) 栃木縣 [illegible]
(8) 備中浅口郡 [illegible]
以下略す

本舗　東京京橋區新榮町四丁目　電話京橋二二〇一番　振替東京五〇五〇番
笹岡省三藥房
大阪市北區本庄中野町　電話東二二三番　振替大阪三八二〇番

京城日報

第三版

戰後の獨逸商戰

京城日報

歐洲戰局の發展と共に、最も經濟的困難に、苦みつゝあるは獨逸也。獨逸は開戰と同時に、全く海外の交通は遮斷され、其の植民地は奪はれ、貿易海運も亦、其全部を殱び居れり。然れども、之れ多くは戰爭中に限られたる影響にして、戰禍一度去らんか、獨逸が先づ、經濟的地位の回復に努力すべきは、明かなる處にして、必ずや猛然として、彼は世界商戰裡に奮闘すべし。而し乍ら戰爭の結果が、獨逸をして、全く亡國的運命に陷るが如き事あらしめば、勿論別問題なるも、苟も獨逸にして、依然列强の一として、存在する以上、獨逸は飽迄も、其の方針を以て、猛進すべきは明瞭なり。其の恐るべき製造業の如き、既に戰後に對する、方針を定めて、着々準備を進めつゝありと傳へられ、例へば彼の、バイエル染料會社の如き、他六大社と共に、戰後に處する政策として、大合同を遂げ、戰時中各國に創設せられたる染料會社の製品に對して、一擧に全滅せしめんとするの、計畫を企てつゝありとさへ報ず。而も獨逸には、僅七千萬の人口を有し、鑛物其他の產額豐富にして、殊に鐵及び化學工業に對しては、世界獨步の觀ありて、戰前に於ける其の輸出のみにても、實に四十億圓を算し、驚くべき偉大なる、經綸的威力を有せり。茲に於て吾人の恐るべきは、戰後に於ける獨逸が、斯る大勢力を、回復すると共に、直に投資政策を、行はんとするにあり。而も之を恐るゝものは、獨り我邦のみに非ず、英佛始め、聯合國側に於ても、皆然らざるはなかるべし。されば嚮に巴里に於て、開會せられたる、經濟同盟會議の如きも、將に之が豫防策を、講ぜるものと見るも至當なるべし。且つ又た、經濟同盟會議組織計畫の如きも、其の同盟は、獨逸に對して、永久戰を宣言するに異らずして、苟くも講和後は到底其の實際に、行ひ得べきものに非ざるや明なり。縱令聯合國間に於ける、利害の一致點を、發見すべしとするも、中立國に於て、聯合國にのみ、充分の滿足を與ふべしとも思はれざるなり。歐洲戰局にし、今日豫め、戰後他日噬臍の根あらん。吾人竊に今日の事を論ずるは、或は尚早なりと云ふ者あらんも、而も今日に於て、確乎たる一定の方針あるに非ずんば、より戰後に對する、我邦有力者の猛者を促さんとする、蓋し贅言ならざらん事を虞る。

完全なる朝鮮史

三浦周行博士談

由來朝鮮半島史は朝鮮を主として書かれたものは鮮く多くは日本若しくは支那の立場から見られてゐた加之朝鮮史と言へば概して北方の勢力のみに詳しく南方の文明を閑却した傾きがあつた朝鮮史を按ずるに歷朝の政策は事大交隣を根本義として然も其間殆んど節操なく時に依り場合に應じて事ふる大國を變更した例へば或時は明に事へ又或時は元を宗主とし其間更に節操を認めなかつた隣邦とは主として日本を指し之を外交術にて操縱した然し恁の如きは北方の文明であつて是れ殆んど朝鮮史の主要部を成してゐた檀君にしても箕子衛滿にしても皆從來朝鮮史の重きを爲したものであつて然も孰れも朝鮮北方の文明建設者である。處が是等北方文明の建設者は悉く大國支那よりの亡命者若しくば侵入者であつて夫等の文明及び歷史は眞の朝鮮の文明乃至朝鮮の歷史とは言ひ難い是れ頗る朝鮮史の爲めに遺憾とする處であるが玆に是等支那大陸の文明とは沒交渉に眞に朝鮮獨特の文明を構成した個有民族がある伽耶、任那、新羅等の築いた文明で其渡來地に就ても史家諸說を爲し或は印度方面より來れりと爲し或は南洋より侵入せりと爲すが要するに不明なのである其論斷は姑く措いて兎に角是等南方民族の築いた文明は朝鮮史中興味深いものなるに拘はらず從來多く疎外された傾きがあつた古來支那では北方の雄と稱せられて四百餘州に覇を爲すは多く北方よりの侵入者であつたが其大國の影響を最も多く享受してゐる朝鮮に於る事實は全く之と正反對に南方より身を起して天下を統一した者が多い新羅は元よりの事高麗の祖は北鮮の出生ではあつたが新羅の分れであり李朝の祖先も亦其遺臣であつた然して是れ等民族の尙しとする處は北方民族の夫れと趣きを異にし節を重しとして君の死に殉ずるなどと云ふ風があつた是等の民族の築いた文明と日本の文明との交涉には殊に密接なものがあり是等の民族と大和民族の關係にも重大なるものがある夫れ等のものが從來の歷史に於て孰れかと言へば閑却疎外されてゐた是れ史家が日本朝鮮支那等に亙つて偏頗なく材料を蒐集し得なかつたと云ふ點もあるが言ひ換へればまだ其樣な時機が來て居なかつたのだとも言へる例へば倭冦の如き事實に對しても日本側に於ては殆んど史實を得る事が不可能であつたが朝鮮側から求むる時は澤山の材料を手に入れる事が出來る此樣な例は幾干でもあつて朝鮮史を通じて日本に於て知り得ない日本に關する史實を知る事も出來る予等が從事しつゝある半島史編纂の事業は個人の事業でなく總督府の事業である爲めに從來朝鮮の實鑑、東國通鑑等を唯一基礎として來た朝鮮史專攻の史家さへも或は後明實錄、李朝實錄等普通の史家は勿論或は時の王でさへも容易に見得なかつた秘庫中の秘籍を見得らるゝのだし其上に中樞院關係の朝鮮の學者が委員と成つて八方から材料の蒐集を爲しつゝあるのだから思ふに未だ世に見得ざる程のものが出來る事と思ふ然し又思へば史實の斷案と云ふ事は實は仲々容易ならぬ大事である例へば日本に於ても明治時代に於て完全な日本史を編纂する計畫があつたけれども諸種の理由は遂に單に資料編纂に止まる事と成つて今日に至つた如き事實さへある資料編纂は唯資料の羅列に過ぎないから怎うしても遺憾が伴つて來る朝鮮史編纂にしても總督府の編纂主旨に或は政策も含まれてゐるであらうし又予等主任者(記者附記、三浦博士、黑板博士、今西學士等)中意見を異にした點もあらうし一事に就ても斷定の容易ならざるものもあらうと思はれるから完成迄にはまだ仲々困難もあるであらう豫定は三年計畫であるが無論三年を限つて出來るものとも言へないし其の量に何の位ゐと云ふ豫定もつかないが千頁以上の浩瀚なものが出來上るであらうそして之れが右に言ふ如く朝鮮の史實を中心として日本、支那から求め來つた材料及び朝鮮に關する外國人の著述等を參考として編纂するのだから恁度他に求むる事の出來ない程完成に近いものと成るであらう

放浪漫記

九月一日上海に於て　大谷光瑞

(承前)香港に於ては、近時日本人に對する香港政廳の待遇、漸く嚴酷を加へたるが如く、一般在留日本人は云へり、往來を監視し、信書を檢閲し、甚しきに至りては之を沒收し、煩瑣苛細に渉れるが如し。何故なるを知らざるも、或は兩廣、革命以來嚴酷を加へたるならむと云ふ者あり。然れ共兩廣、革命は、支那の內事たり、我邦人も、英國政府も共に關知する限りに非ず、小生はその何故たるを知らず、北野丸出港に際し、見送りの邦人頗る多く、廣東の赤塚總領事の令息、歸朝せらるゝにより、領事令夫人と共に棧橋に在り、香港總領事高橋氏も亦見送人中に在り。船將に棧橋を離れんとする時、香港政廳より英人の警吏數名船中に來り船內を搜索し、日本人と支那人の船室を搜索し、甚しきは船內に於て、身體被服中に手を入れ搜索せり、其結果は知らざるも、別に押收せしもの無かりしを以て、搜索の目的は存在せざりしが如し、船員の云ふ所によれは、支那革命黨を物色せしと。或は然らん。如此き嚴なる搜査は、他に於て之を見ず。小生も棧橋上の總領事と告別せし時にて、更に如此き事件の生せしを知らず、唯半時間餘、何故出發せざりしやを訝しみ居れり、船員に發して船員よりこの顛末を聞けり。香港よりは北上するに從ひ、益々大風の危險區域に入るを以て、警戒せしに、幸ひに何等の豫兆もなく、亦穩なるを得たり。唯下揚子江より、浙江一帶に於ては、低氣壓の爲め偏南風を起すを以て、依然苦熱煩悶を免れず。福建浙江沿岸は一帶に雷雨を起せるを以て、空中電氣の放散甚しく、爲めに香港及び上海より發せる氣象電報を受信する能はず、憂欝を脫する能はず。船臺州列島を過ぎ、舟山島に入らんとするや、海面異常の光を放てり、如此きは夏季の通常なるか否やを知らず、小生この海面は數十回航海せりと雖も、多くは冬春の季にして、夏期は今回か始めにして、通常なるや、非常なるやを知らず。之を船員に問ふも多くは知らずと云へり。船中煩熱無聊、箱底に一卷の陸放翁集あり、時に之を讀む。放翁は憂國の情、壯少陵に讓らずと雖も、句法彼れの雄渾に及ばず、然れ共南宋の大家として見るに足るもの亦少なからず。放翁の多作に至ては、有唐以來今日に至るまで、之に及ぶものなし。彼云く、今皇神武是周宣。誰賦南征北伐篇。四海一家天歷數。兩河百郡宋山川。諸々猶守和親策。志士虛捐少壯年。京洛雪消春又動。永昌陵上草々。の如きは、其至情豈少陵に一步を讓らんや。卅日正午申江に入り、上海に安著仕候。西域の山川漸く平靜、秋氣清高、最も散遊の好氣節に入り申候。草々、不宜。

日報詩壇

梅山　菱齋

○江原遊草

蘇州城懷古

城下秋江浪拍天。吳王宮館已成阡。孤
月映生公說法處。浮煙凝鎖靜藍遼。刻苗
青螺西下落潮日。馬伍貢驗。西風一
夜眠陵客。芳筲笙歌不得眠。

余亦海辭屈指將九星霜。讀高作吟懷越。

上海春申樓詩會

蒹葭風起滿煙波。黃歇浦邊一泛舟。蒼
塞月明人臥蘇。吳江楓冷鵬聲來。綠管
晴閣尚急雨。輪蹄轟軋轉清雷。斷雲天
末家郷鬼。橫醉高登戲馬臺。

清相工緻、老手老手。

贈金滄江

晴昔庾精降紫薇。風流文藻動京華。
陸徽官如鄭虔。陽春曲亦名家。
狼山甑獨樹。黃梅仙李付空花。垂老
琮湖上星。著書終日掩窓紗。

深精眞語。風格亦道。我槐南先生在世之日、屢賞讚滄江之詩、寔有故也。

常州天甯寺詩會

百曲平湖一帶城。琳宮貝葉翠欲橫。丈
宮燒茶諸品跡。石門誦樂衆香滿。天風
鶴立衆裟影。秋水龍吟梵唄聲。元白
事逃物外。慈恩寺裏盡歡情。

字字捶錬。語響聲新。

杭州望海樓遊望西湖詩會

甍欄粉堞映清漪。藥荷花十里湄。古
郭雲垂林遮宅。荒祠苔蝕岳王碑。湧金
門迥凝簫管。寶石山迴颺酒旗。白馬
湖上路。誰家遊冶拂觀絲。

明麗如畫。光彩映人。

西湖忌亭泛舟詩會

一叢羅綺六銖香。畫舫蝸頭噴水涼。亂
刺輕撓荷葉折。溯心驚散睡鴛鴦。

清婉才思有餘。

○新蟬　栗原　華陽

脫殼松梢託小身。微見翻翻羽翼新。風
餐露宿聲聲裏。愁殺悲秋多少人。

評日〔…〕有風韻。

十六日朝刊
(タ刊と合せて八頁)

定價　一部金五錢　一ヶ月金六拾錢　郵稅一ヶ月金二十錢
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲報知欄內一行金壹圓　▲所指定一行金貳圓
發行兼編輯人　奥田直穀
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯用　二五四番　營業用　二六六番　振替貯金口座番號　京城一〇〇〇

寫眞の好期節になりました

■目下家庭寫眞が大流行　何時にても御家庭へ伺ひます■
■夜寫は五千燭光窒素電球を以て晝と變らぬ樣寫します■

京城南大門通三
電話一〇四〇番

京城寫眞館

日本幼年

監修　倉橋惣三先生

□智識慾の盛んな子供には本誌を與へられよ
□本誌は繪も噺も全部教育的繪雜誌
□故に子供の智情意を圓滿に發達せしむ
□家庭の教育を大切にお思ふお方に本誌をすゝむ

□定價拾貳錢□郵稅壹錢□半年郵稅共七拾五錢□壹年壹圓四拾四錢

第十六回新學期開始卒業者は銀行、會社、商店へ東京は勿論全國へ直に就職せしむ規則書進呈　東京芝區榮町　▲大日本通信學院

東京京橋區鍛冶橋外　東京社　振替四千九百番

▲京城バザー開館▼

▼開館　愈々九月十六日より!　每日午前九時より午後十一時迄開館致します
▼商店　豫定の店舖完備!　雜貨品やら化粧品日用品まで嶄新な品ばかりです
▼正札　にして一切懸値なし!　御婦人でも御小供達でも安心して御買ひ下さる事が出來舛
▼景品　開館の祝意を表し!　五日間御買上五十錢每に景品御添へ致します
▼引替　速時に當館內にて!　御當りの御方へは陳列してある景品を差上ます

御散步旁是非一度御來館被下度御願申上候

京城本町二丁目
(電話二三五一番)
京城バザー

貴紳間に高き稱讚の聲は

▽純國產

牛久赤白葡萄酒の

眞價を語りつゝあり!!

見よ――!

本邦生葡萄酒中の醇良品として上流社會の人氣を此一身に集め忝くも宮内省の御用命を蒙りつゝある本酒は

如斯二大特色あり

[一] 茨城縣牛久神谷葡萄園に移植したる佛國種優良生葡萄より搾取したる儘の精良品也

[二] 本酒は純國產なるを以て舶來品の如く高價なる運賃關稅を要せず隨て價格頗る低廉也

賣捌所
東京日本橋
近藤利兵衛

颯ご窓訪ふ風に

もう秋だ――秋が來た
――と思ふ刹那

「秋のお仕度」

を思ひ浮ぶのは
誰樣も御同樣で御座いませう

市內の御客樣は電話八九〇番にて御用命下され候はゞ早速御邸に入れ可申候

此際
京城本町
ちこしや
には

新荷が全部著きまして殊に本年流行の新しい珍しい柄豐富に取揃へましたから何卒賑々しく御來觀の程を願ます

今更申すまでも御座いませんが丈夫で著心地よく而も經濟で三拍子揃つた本場秩父銘仙は上下一般の家庭から盛んに愛用ぜられて居ります

地方よりの御注文は男女年齡柄向の嗜好御申越し下され候はゞきつと御滿足を得る樣適當の物品見計ひ御郵送申上可候

仁川米豆取引所

…付十四圓…錢止め十四圓…△先限寄付十四圓四十錢止め四十…

▲十五日後場　長限後場十四圓三十一錢東京十となり大阪正安後寄…

止め　一三、四七　一三、八四　一四、〇八

▲後場煎れ上げ　天候一時晴れたるも又曇天…前場… 戰が新出し四十七錢と返し六錢…堅硬の散…

▲(ヨ)大に賣る　不知今後の成行…數無慮一萬五千餘石に上りたりとの事…

▲全羣の商內　後場全より賣りたる玉數二千餘石買…

九月限　十月限　十一月限
十二圓二十六錢　十二圓四十八錢　十二圓二十六錢

退却蒙軍を追撃せず
我が調停に依り一段落を告ぐ

張奉天督軍は洮遼鎭に向け退却中の蒙古軍に對し最早之を追撃せずして歸蒙せしむべしとの訓令を發したるが之は我が關東都督府が支那側の要求を容れ蒙軍中の宗社黨に對し武器沒收團體解散等の實行に盡力し其の監視を嚴にし西方に向け愈々蒙軍の退却を見たるが故にして數旬間に亙れる葛藤事件も我が調停鎭撫により茲に一段落を告げたり（大連特電）

米國日本の回答に滿足す
『日本は支那に對し在來の政策を變更せず』

華盛頓來電に曰く、米國々務省はガスリー大使に對する日本の回答に衷心滿足の意を表したるが同回答には日本が決して支那の領土保全及び商業上の機會均等に關して在來の政策を變更せざる旨を懇切に繰り返しありたる旨を報せり（紐育電報）

日露協約と露國の保證
協約は支那の保全を害せず

駐露米國大使よりの報道に依れば、露國政府は新たに締結せられたる日露協約は支那の保全を害するものに非ずとの保證を與へたりと（紐育電報）

ソンム北方を掃蕩す
英佛軍總攻擊の一新

ソンム北方に於て十二日行はれたる迅速且突進的攻擊は前方に在る有らゆる物を掃蕩して英佛軍總攻擊地の一新を形成したり此の進出は獨軍の堅固なる陣地數個を佛軍の手中に歸せしめたるが同所はペロンヌ並にコムブルを一層密接に脅威するものとして極めて重要なるを認知せしめたり去る九月三日佛軍戰線はペロンヌ、バポーム街道を掩護する獨軍の堅固なる築造塹壕と觸接するに至れるが我軍が强襲を以て奪取せるは此の防禦線にして四日間に亙る準備砲擊の後我が軍は二回の躍進を行ひて攻擊を遂行せり即ち第一回の躍進は午後十二時三十分過より一時に及び第二回は軍隊が第二線に糾合せられたる後直ちに行はれたり一箇軍團はコムブル、ブウシヤヴエンヌ街道とベッースヌ、ペロンヌ街道との十字路方面に於ける敵の左翼とクターツー東方の右翼との攻擊を命ぜられたり獨軍の塹壕はソンム、リモンボアルに向つて一直線を成せるが此の第一線は我が軍の第二回の躍進に依りて僅かに三十分以內に奪取せられたりフエオル將軍麾下の軍はペロンヌ、バポーム街道上の敵の第二線塹壕中ランクールよりブオシエ村に至る戰線三基米突深さ一基米突半を奪取し獨軍の砲兵陣地を破壞せり斯くして佛軍の新陣地はレムブルを過ぎて遙かに一四〇高地に據つてソオチツを支配し得る東南方に延長せり一四〇高地は同時にタンクール、ブウシヤヴエンヌ線の東部一帶をも支配すべし我軍は又ペロンヌの陣地の堅固たるセント、カンタン丘の西北斜面に於ても陣地を獲取せり（巴里電報）

希臘政變
デ氏新首相承諾

路透雅典通信員は報じて曰く、ザイミス氏の決心に關し種々の報道ありたるが一千九百十三年ヴエネゼロス內閣の際に司法大臣たりしデミトラクップーロス氏は大臣總理大臣たる事を承諾したれば九月十四日には多分皇帝の認許を受くべしと（倫敦電報）

佛獨戰況

十三日夕刻發表の公報に曰くコムブルの前方に於て我が陣地は著しく擴大せられたり十二日プリエズ畑地の南方にて强襲を行ひ堅固なる防禦を施せる一帶の塹壕全部を奪取し負傷せざる捕虜二千三百名を獲たり十四日晝間中央及び右翼に於て激戰行はれ敵軍は猛烈なる襲擊を行ひて無益の奪還を企て敵の分遣隊二個聯隊はボアブル畑地を首尾好く奪還したるも我が軍は激烈なる襲擊を以て敵軍分遣隊全部を擊退したるが佛軍は猛烈なる白兵戰を行ひて敵を驅逐したるなりソンム河の南方にては我が軍砲兵隊は占領地域を支持し一方面に於て敵の大砲十門及び機關砲四十門を獲たり（巴里電報）

鎭南浦金融界

本秋は［illegible］用方面［illegible］暢りのため相場奔騰し一時買控の止［illegible］圖に上り從つて之れが採掘運搬資金［illegible］に相當り需要ありたり又金入［illegible］に輸出側に於て繁忙を告げ下半［illegible］は下旬僅少の出［illegible］を合して一萬石內外に過ぎず殊に浦［illegible］の企ありて當時商［illegible］らず一時脫合ひの姿なり仕入側も［illegible］雜貨商筏商の輸入好況にして［illegible］

醉漢に毆らる

京城太平町［illegible］百番地藤原源太郎（［illegible］）は出會頭に打突かり合ひしが三名共醉ひ居る事［illegible］を突き倒したる上［illegible］

獨逸募債
極めて不成績

獨逸新軍事公債は必死に公衆の援助を求めつゝあるに拘はらず應募成績極めて惡し（倫敦電報）

支那に教育調査

支那政府は這回我國に於ける全般に亘る教育制度の調査方を政府に委託し來れり（東京電報）

露藏券引渡要求

露國政府は帝國政府に對し露國大藏證券七千萬圓の引渡を要求し來れり（東京電報）

關稅收入增收

貿易盛況を呈せる結果關稅收入稍增加せり（東京電報）

三線問題と都督

三線連絡問題に就ては目下內閣に於て愼重調査中なるが中村關東都督よりも去る十三日正式に之れが廢止方を政府に申請し來れり（東京電報）

製鐵發起人會

東洋製鐵會社發起人會は十五日午前十時より東京商業會議所に於て開會出席者全國實業家約八十餘名澁澤男より製鐵會社發起に關する主旨並に經過報告あり更に製鐵所次長服部博士は起業目論見及び設計收入計算等に關する說明を爲し澁澤男の指名にて二十五名の創立委員を選任し次いで第一回創立委員會を開き中野武營氏を委員長に選定し散會せり（東京特電）

定例閣議

十五日は定例閣議に付午前十時より永田町首相官邸にて大隈首相以下各大臣參集劈頭石井外相より鄭家屯事件に關し北京政府と其後の交涉に就き報告あり次いで大島陸相より蒙軍引揚げに關し我軍の執れる處置其後の駐屯軍の行動に就て詳細なる報告ありたる後二三政務に關する協議あり續いて武富藏相より大正六年度豫算査定の大體方針に就き說明を爲し午後一時散會せり（東京電報）

西侯歸京期

伊香保に避暑中の西園寺侯は二十日歸京の筈（東京電報）

軍司令官動靜

秋山軍司令官は十五日朝義州に赴き同日午後新義州に引返したるが十六日歸任の途に就く豫定なり（安東縣特電）

政務總監と總長

山縣政務總監、古海鐵道局長は十五日朝水路龍岩浦に赴き同地及び附近の視察を遂げ午後三時新義州に引き返し同日の夜行列車にて歸京の途に就けり（安東縣特電）

陸軍辭令（東京特電）

陸軍步兵少佐　鄕田兼安
中支那派遣隊參謀被免
參謀本部附被仰付

陸軍步兵大尉　中山諭吉
參謀本部附被免
中支那派遣隊參謀被仰付

朝鮮神社
社格及位置
神體は明治天皇＝竣成を俟て官幣大社奏請＝京城神社獨立

總督府にては朝鮮神社營造の議穊り其の調査設計を了へて大正六年度より工事に著手す可く明年度豫算に其の經費を計上し大正九年度施政十週年を以て竣成せしむる豫定なるは既報の如し、之れに就き聞く處に依れば宮殿の位置は現總督府司法部構手にして京城神社に隣接せるものゝ如く、總工費一百萬圓中明年度は四萬餘圓を以て地均らし及び基礎工事の一部を成し宮殿の建造は大正七年度となる可く、又た社格は臺灣神社と同樣官幣大社として工事の竣成を待ち奏請の運びを見る可し、神體は明治天皇なること申すまでもなけれど合祀の諸神は未だ確定せず、而して世には朝鮮神社の竣成と共に京城神社の廢止を云爲するものあるも同社は神社規則に依り設立を認められたる有格社なれば朝鮮神社末社たらしむるか否かは兎も角之れが廢止を見るが如きは萬あらざる可く恐らく京城神社として永遠に獨立祭祀せらるゝならむ

京城道路工事

目下頻りに道路工事中なる朝鮮銀行前より鍾路に至る大通りはスチームローラーにて車道の整備を行なひつゝあるが此分は遠からず終了すべく其後は兩側人道のセメント固め及び割石舖き詰めをなすべく十一月末頃に竣成の豫定なりと

京城屠場統一

京城の屠獸場は京城府にて經營せる阿峴里、京城、東大門の三屠場の外龍山に私營の一屠場あり以上四個の屠場に於て年額約三萬頭の牛を屠殺し全部京城に於て消費され居れり京城府は夙に前記の內京城屠場を民間より買收せし以來專ら衞生的施設の完備に勉めつゝありしが經費其他の關係上東大門屠場は既に業務を休止中なるが將來とも屠場を一箇所に集中し諸般の設備を完備せしむるに於ては種々の點に於て利益あること近々其實施を見る筈にて本月中旬頃府協議員會にも諮問したる上實行すべしと因に屠獸場は一頭につき一圓の手數料を徵し居り其年額約三萬圓あり府の收入としては有力のものなりと

忠南道の水害

先日の豪雨に錦江の增水公州に於ける最高二十五尺五寸に達したる事は既報の通りなるが今忠淸南道に於ける農作物其の他の被害を聞くに稻の被害三千七百六十一町七反步にして此の見積價格十七萬九千八百四十六圓大豆一千一百二十二町一反步にして此の見積四萬三千百九十一圓小豆百町步の五千〇七十圓蕎麥百〇五町步の五千［illegible］圓粟十町步の千圓蕎麥百六十二町步の二千四百三十六圓其の他三百八十九町步の六千零六十五圓にして以上被害の總町數五千六百五十三町步に達すと又道路は六月以來の洪水にて破損せる個所應急の手當として假工事を施しありたるが潰れ破壞され天安洪城間公州論山間公州小井里間は一時交通杜絕の止むなきに至りたるが殊に公州小井里間の中公州郡儀堂面毛老院橋（長さ六十餘間）の如きは中央部三橋脚を流失し今に交通杜絕の有樣なるが道廳土木係に於ては之等の復舊工事に全力を注ぎ居れり

營口支店新設の理由
水越鮮銀理事談

十五日より鮮銀營口支店の開業を見る事となりしが右に付水越理事の談に依るに營口支店新設の主なる理由は第一朝鮮銀行が▲滿洲に北進して特產物の取扱びをなす以上當然滿鐵大連營口三港の出口を扼するを要す滿鐵及び大連は既に支店及び直系金融機關を設置したれば殘る一方の出口を塞ぎ茲に金融網の完成を圖らざる可からず元來營口は日露戰後滿鐵の極端なる大連繁榮政策に禍せられ漸次其の沈衰を來せり或は刻下營口の實狀は頹勢一方にて到底一支店を新設するに足らずとの意見も出でたれど鮮銀にて仔細に調査せし所によれば營口の年間に於ける出入貿易統計も相當の額に上り▲經濟上の素地も容易に搖がす可からざるものあり加之營口の受けつゝある滿鐵大連繁榮政策の惡影響も現在以上に營口を毒するものに非ざる可しとの結論を得たるに付銀行開店の曉假令充分の利益を收むるを得ずとするも相當營口に根據を有せる日支貿易商の後援となり金融の便を圖るは必要なるべしと云ふに一致せると第二に元來營口は有名なる過鑪銀の本場にて同地商人間にては過鑪銀を用ゐざれば取引をなさずと云ふ位なりしも鮮銀が滿洲に進出して以來圓金を本位とせる朝鮮銀行券の流通漸く同地に盛んならんとする狀勢にあり朝鮮銀行としては滿洲に於ける金建貨幣の流通擴大に付過去に於て相當の努力を致し將來亦能ふ限りの手段を執る方針に付此の意味より▲過鑪銀の本場たる營口に支店を新設するは有意義なり第三には既に滿洲の主要地に鮮銀の支店出張所を開設せる以上滿洲の一要港たる營口に機關を缺くは爲替の取組關係に不便少なしとせず故に此の缺陷を補はんとするに出で要するに營口支店新設は滿洲に於て帶べる朝鮮銀行の使命の一を果せるものとも云ふを得べく其の成績は之れを後日に徵すべし

開城參圃賣買と資金

開城最近の財政を聞くに八月は同地鮮人の大節季にて年期間に於ける總ての貸借を皆此の月に淸算する故同月の金融は一時大に繁忙を呈したり且つ參圃の賣買も多くは本月に取引せらるゝ故に勞々農銀支店の如き資金の需要一時に喚起し手形割引額十四萬一千圓に上り前月に比し三萬二千圓の增加を見たるが十月は人蔘收穫期に入たる故相當採掘費資金の需要あるべきも月末より專賣課出張所に於て人蔘賠償金の下附あるにより金融は緩和すべし

傳染病患者數

仁川に於ける本年一月より八月迄の傳染病患者數は收容されし者丈けにて猩紅熱患者三十八名赤痢患者四名腸窒扶斯患者三名合計四十五名なるが此中猩紅熱患者十六名赤痢患者二名の死亡者あり赤痢病者にて重患の爲め避病院へ運搬出來ず自宅にて隔離の上治療に從事したる者に猩紅熱三名、腸窒扶斯四名、赤痢一名計八名ありて患者一名死亡し他は全部全治退院したる者なるが現在入院患者はチブス一人、赤痢二名にて合計三名なりと因に自宅治療の猩紅熱患者は大抵十歲以上の少年者なるが重患になりてより知れたる者なりしと（仁川）

朝郵決算と總會

朝鮮郵船會社にては第五期上半期の決算を九月に締切り十月重役會議を開き決算案を附議決定の上二十六七日頃株主總會を開會の筈なるが既に株券の名儀書替は九月一日より停止せりと

仁川商議委員當選

仁川商業會議所に於て十五日午後一時より開催されたる同所常務委員一名の補缺選擧には白神專一氏當選したりと（仁川）

人事消息

▲河井松之介氏　十五日夜哈爾賓より入京朝鮮ホテルへ
▲ケチヂミサスキー氏▲アルスチペー氏（露國商）人同上
▲服部綾雄氏　十六日朝出發

南言北語

起ちは起たが羅馬尼は何だか危ない早く露軍の應援が必要▲折角此處迄進んだから最う一と力聯合側がリキめば好い▲露國西南軍司令官ブルシーロフ將軍は戰爭は來年の八月頃媾和になると豫言して居るが▲巴爾幹方面で作戰が進つては其うも行くまい何うしても羅馬尼を助けて匈牙利に深く突入させるに限る▲獨逸が食糧に窮したとか人員が缺乏したと云つても腐つても鯛の骨未だ何うして却々手剛い▲獨逸の海運は一時英國の驥を摩して居たが開戰後は衰れなものだ▲今日迄の處によると英國が開戰以來無疵の獨船を拿捕した事百四十四隻▲佛蘭西は七十一隻と外帆船三隻之れは先づ英國の尻押があつたからだ▲佛國はタッタ十二隻だが之れは獨船が風を喰つて伊太利に逃げたからだらう▲所が當に這入つた蜻蛉同樣伊太利は三國同盟を破つて聯合側になつたので▲枕を高くして居た獨船はソックリ其儘五十九隻が伊國のものとなつた▲紐育と波士敦に潛伏したのが三十八隻▲西班牙に四十隻麻尼拉に十七隻瓜哇に三十隻盤谷に九隻は先づ安心の分である▲尤も米國へ逃入したのは選りすぐつた上等船ばかりで彼の世界一の巨船祖國號を初め〆て四十萬噸▲其の一箇月の維持費が八十萬圓で大したものだが中には平和回復後受出す約束で抵當に這入つて居るものもある相だ▲獨逸の潛航艇の荒れ廻るのも尤もな次第で大分お腹が立つのだらう

新案自動廻轉　特許式キネン萬年筆
車付上等クリップ付特製金ペン付金輪入定價金壹圓の處送料共箱入特價　五拾錢
別上軸特製割與上等クリップ付使用法付定價金貳圓五十錢の處送料共箱入特價
正十四金ペン付　壹圓五拾錢
右は何れも現品の寶出し廣告の爲一萬本限り發賣す個數に滿つる時は謝絕す好期を逸せず至急申込あれ

內外文具卸商　松田大寶堂　大阪西二丁目　振替大阪二九九四九番

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
動物學講義	石川千代松	四五〇
情話叢書第一輯	淺原米子	四五〇
南進策と小笠原群島	山田毅一	一二〇
漢文譯	山井暢光	六五
時は過ぎゆく	田山花袋	一二〇
牛（明天覺）	岡本米藏	一〇〇
乃木大將	山路愛山	八五
綴方新教授法の原理	駒村五味	一三〇
朝鮮鑛業要覽	朝鮮鑛業研究會	一二〇
朝鮮語學捷徑	佐藤錄堂	五〇
英和中辭典	井上十吉	一三〇
朝鮮鐵道旅行案內	朝鮮鐵道局	七〇
民法總論前編	鳩山一郎	六〇
物權法前編	横田秀雄	六〇
行政法全二冊	島村他三郎	一二〇
海商法論全三冊	市村富久	一二〇
保險法論	粟津清亮	六〇
手形法論	須賀喜三郎	六〇
商法總論	志田鉀太郎	六〇

盛松堂書店　京城店　第二京城店　仁川店
京城本町二　電話一二一六六番　振替京城二四五四番

五龍背溫泉　新義州より汽車で卅分

一雨具、桐油、毛布、四百噸艙四艘　右賣拂ス詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正五年九月十六日　朝鮮總督府遞信局

產婆並に看護婦生徒募集　入學期十月四日　●規則書郵券二錢
長崎市磨屋町　私立長崎產婆學校

京日案內
普通　一回前金三十錢　番外　六十錢　一回前金　五錢增無割引
▼申込後中止掲載中止の節は料金返戻せず

▲古本と古藥器類は信用の出來る　本町二　電二五二七●ウツボヤ書店　165
●店員入用　希望者は至急來談あれ　龍山驛前　森下酒店　電話百〇二番　236
●求嫁　十八歲より二十七歲迄の嫁を求む男卅歲月收四十餘圓家族二人望方は來談又は通信にて　姓名在社　238
●但馬特產柳行李●古本寶買●大勉强誠實に取扱致します　京城本町三丁目　但馬屋　北村商店　235
●店員入用　年齡十六歲以上市內確實なる保證人二名を要す　蓬萊町四　三巴酒造場　電話一〇六七　232
●看護婦數名至急募集す經驗者は自筆履歷書携帶來院の事　黃金町二丁目　朝鮮人診療病院　225
●朝鮮人文選工二名入用　京城旭町一丁目　中島印刷所　220
●松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す　▲光州加藤自働車運輸部
●血の道●疝氣●胃腸●名灸　根治　若草町若草湯前　堀內正文　建堂　94
●姙婦產婦預所（規則申込次第送呈）○京城南山町二の三　京城產婆院○　148
●古本熱心高價買入△御報參上　●是非御試驗を乞ふ△本町四　●電話二七八一番△書肆群書堂　211
●貸家　商店向き電話電燈水道付　京城鍾路目拔の場所（姓名在社）　203

番外

特製　滋養納豆　市內配達　若草町筋　文福堂　237
外勤社員採用　但內地人　京城黃金町二丁目　共保生命保險　京城出張所　239
貸切自働車　乘合　京城春川間　京城發前九時　京城水標橋通り　電話貳參八番　片道四圓　支配人　松田壽男　●春川發前七時半　京春自働車商會　202
外交員募集　男女各二人報酬は成功報酬詳細面談　開城大和町八十七番地　日本生命保險株式會社開城代理店　218
貸自働車　京城春川間毎日午前八時出發片道金四圓　京城南大門通一丁目　電話二一九番　京春　廣橋自働車　主務　金正淵　195
●はねつき　うちみくじき等　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　179
魔法瓶中瓶取替　206
柳製專賣鞄　其他色々　絹綿　京城本町一丁目　高木旅行用具店
藥學講習生募集　夜間教授　九月三十日迄に申込まるべし規則書は市內各藥店に配附せり　事務所　黃金町三　梅崎政雄方　藥學講習所　209

[illegible]輸入貿易商は聯合して買付に從事し成績を擧げ本月[illegible]
移出旺盛を極め此方面の金融忙繁を[illegible]餘圓石炭二萬四千餘圓に達し久原製
告せたり下半期に入りては餘りに買[illegible]錬所の金銀粗銅の移出高亦三十餘萬
[illegible]れが決濟資金も亦相當[illegible]上れり要するに八月の金融は上半月に於ては殊[illegible]の需要相當にありて金融[illegible]に向ふものゝ如し

▲㊐龍く買ふ [illegible]上りたり[illegible]となり目下玄白糗等一粉筋の買控へとにより商談拂々しか[illegible]注目なるに[illegible]も村場の暴騰と内地製[illegible]ド石油九萬箱の入津せるより一般商況は漸く好況に入り市中何となく活[illegible]

[illegible]九日午前[illegible]醉擲びて南大門[illegible]通りを通行中南大門附近の街角にて御成町御成座の道具方太平町二丁目[illegible]署に於て取調べ中の處十四日[illegible]として檢事局送り。

◎絞られ過ぎるから良い作品が出ぬ
木下杢太郎君と語る
文藝の材料としての朝鮮滿洲

『御承知でもありませうが太田君は東京帝國大學の醫科を出て三年餘り土肥博士の下に研究され今度奉天の南滿醫學堂から皮膚科の教授に聘せられて赴任の途にあるので……』と主人の渡邊鮮學が紹介してくれる、然し滿洲日數の僅かな氏の見物時間に投入して迄も記者が強ひて面會したかつたのは醫學士太田正雄氏にでは無くて文藝者木下杢太郎乃至地下一尺生としての氏なのであつた、が氏は『實は十日迄に赴任しなければならなかつたのが途中名古屋や大阪で同僚を訪ねては暇どり其上に釜山迄來ると洪水の爲めに足どめを喰ふと云ふ始末で非常に遲れてしまつてるのですから成る可く途中で油を賣つてた樣な痕跡を殘す樣なお話は避け度いのです』なぞと言ひ乍らも好きな道の話と成ると流石是れ丈けでは濟まされもせず『朝鮮には勿論初めてですが釜山あたりではチットも朝鮮らしいムードが無く京城に來て稍や朝鮮らしい氣もしましたが夫れでも何となく陳らぬ處がありま す何でも其意味に於て平壤が一番興味があると云ふ事ですから今度は到底も駄目ですけど其内に暇を見付けて大に朝鮮見物に遣つて來たいと思ひます』とそろく話が其方に向つて來る』一體日本の文學者は餘り絞られ過ぎる嫌ひがあるまだ充分に頭腦に入りきれないうちにもう出さなければならない隨つて

■粗製濫造 の傾きがある一體筆忠實で書事の好きな私にしても大に其處に悟る處があるから今度東京から離れたのを好機として暫く濫作を中止し深く研究して朝鮮や滿洲を頭腦に入れる事に努めやうと思ふ無論今度奉天に行つても東京の雜誌なぞと特約して書いたものを送る樣な事は決めてなどゐない」と其處はビーくと文學者とは違つて醫學士と云ふ別の名刺が物を言ふ關係から悠揚迫らぬ態度がある『現代日本の文學界に鳥渡

■飛びぬけ た人は無いと言つたがいゝだらうと思ます最近藤村が佛蘭西から歸つて來たが私は曾はないで來てしまつた未だ何も發表した續いたものは無し唯朝日に非常に丁寧な文體の雜文を書いてる樣だが年齡も年齡だし單て信州の山の中から出て來た時の勢ひがあるか怎うか今の處疑問だと言はねばならぬ。鷗外が最近頻りに考證に沒頭してゐるのは氏の頭腦の傾向で側からいゝの惡いのと言つた處で到底

■舊に回し 得る譯のものではなし怎も仕方が無い唯今迄氏の擬印の繇つてゐた城砦は誰か新しい若い者が占領でもするより外仕方が無い。目下漱石が書いてゐる『明暗』には處々氏自身の想像も加はつてはゐるけれど心理描寫に仲々企及し難い箇所があつて殊に婦人の感激して泣き出したりする邊には隨分面白いと思ふ處があると思ふ。創作は要するに經驗から出なければ嘘だ勿論ヒントは新聞の三面から獲ても構はないけれど作中の

■人物の心 理狀態は作者の經驗の再現でなければ嘘になる此意味で日本の現代の作家は殆んど總て岐路に迷ひ込んでゐると思ふ無論讀者の力もあるが双方から見て唯面白くさへあればいゝと云ふ傾向が非常に強くなつて來てゐるのは遺憾事だ。芥川龍之助と云ふ人の作物が自己の經驗を多く材料にしない缺點はあるが餘程面白いと思つてる森田草平のドストエフスキーの譯は外國の作品として興味があるが

■其影響を 蒙つた創作は奈何ものか。鈴木三重吉は最近全集出版に沒頭して餘り創作しない樣だがまだ彼れ丈けの人でもあるまい。評論の方では少し舊い嫌ひが無いでも無いが私は田中王堂が好きだ茅原華山は非常に刺激の強い華やかな文字を巧に羅列して例へば大聲に叱咤絶叫するが其論旨がどうも徹底しない中澤臨川は近頃郷里に閉居して沈默してゐるが一體に興味を永續させる事の出來ない人らしい臨川に代つて中央公論に書いてる吉野作造博士は非常に

■元氣な人 で氏の朝鮮論など矢張興味深く讀ませた。生田長江が『最近日本の文壇に倫理思想の缺如してる』事を論じ赤木桁平が時事に遊蕩文學を攻撃してゐる、私も閑があつたら遊蕩文學論の飛入りをやらうと思つたが今日迄遂に其暇を得ない。一體人間が其生活上に於て壓迫を受ければ自然の順序として之を怨み他の方面に向つて鬱憤を洩らすに到るのは當然で、生の享樂に對する德川時代の壓迫が尙一層『戀を樂しみたい』と云ふ希望と成り丁度

■都合よく 特別の區域が設けられてあつた爲めに其方面に對して展開されて行つて遊蕩文學と化つて表現したと云ふ事は頗る興味ある事だ。更に角老年階級に受くる青年階級の壓迫にしても生活上の愉悅に對する壓迫にしても總て壓迫と共れに對して變化表現される心理狀態及び其具體化された現象には研究すれば皆夫れく相當の興味が伴はれてゐると思ふ。赤木桁平の論旨は之を個人的に論じて文學者の遊蕩生活の攻撃と云ふ風に成つた爲めに論旨が岐れて來たが要するに此問題は仲々興味のある問題だと思ふ。長田幹彥は兎も角として谷崎潤一郎は

■多少冗漫 な嫌ひはあるが仲々達文家だと思ふ。唯達文家だと思ふ丈けで思想上からは論ずる程もない心理や生理の方からは無論言ふ甲斐は無いが例へば鼻を長くして見たり眼を細くして見たりして諷刺諧家が好評を博する風のカリケチユリストの才があると思ふ——イヤ莫迦に喋つてしまひました。決して油を賣つてゐるんではありませぬから……』と書生風な處にも矢張り何處となくお醫者樣らしい注意深さで口を噤む

□初秋郊外十景(十)
——南山のふもとに立ちて——

陽は全く西に傾いて雲の輪郭が五色に彩られ乍ら次第に暮れて行く秋の夕は實に美しく又もの靜かな感じがする、あたりはほの暗くなつて來て蟲の聲がしきりにする、うすら寒い風に吹かれ乍ら中腹に立て遠く龍山の方を眺めると、かすかな漢江の流れが白く長く蛇の樣に見ゆる。（初秋郊外十景終り——とみ——）

◎秋こそ來つれ七草のこりぐ(下)

◇瞿麥 幼稚園や小學校のいたいけ盛りの小供が、可愛い口に唱歌の中にも詠み込んであるお馴染の大和撫子である。負けぬ氣の氣象を蕾の小節に見せて、凉み遊つた秋の氣にスックと拔け出て生へては居るが、竹の葉に似たあの小さな葉、鋸の齒の樣な鋸歯が細かに分れた、深紅なあの小さい花を見ては、どうしても秋の草でなければならないと思はれる程いぢらしい姿である、又の名を河原撫子といつて石竹と區別し、花の種類には一重八重色々の種類がある。石竹科の

◇女郎花 『踩るあめりかに道はさし』と詠んで自殺した遊女の物語りなぜ思ひ合はされて、一としほ哀れ深い花である。菊の葉に似た葉を對立さして、粟粒を集めた樣な黃色い花を澤山着けて、延びやかにスラリとした姿は如何にも女性的で、秋の象徴する花としては何一つの申分も無い。嵯峨に育つた年若い美しい一人の女は、彼女を孤兒として殘した父母に、一生をかしづかんと尼になつた時、其の日に切る其の黑髮を此の花の根に埋めて、月の一夜を虫と共に泣き明したと云ふが、哀れに優しい此の花が、如何に彼女の心を痛ましめたかゞ想像される。これは敗醬科の宿根草で、花の色の白いのは男郎花である。

◇藤袴 何んと優美な名であらう！歌によむべき名なりけりと思ほしむるもの、昔一人の姫君のかならんやである。敗醬科に屬する香氣を放つ其の葉は、左右に長く岐れて燕の尾の樣な所から、俗に燕尾香と呼んで居るが、本來の名は蘭で、詩經にいふ事になつて居る。其の理由は、同なごに該してある許りでなく、古歌にもラニとよんで其のゆかしさを[illegible]。藤袴といふ名は八雲御抄にも見へて居るが、普通蘭草とかいふのも、矢張り此の花の事である。余形に簇生する淡紫色の細かい花は殊に香氣高く、滿百人首の文人墨客の愛賞して措かない所である。間違ひ易い花に蘭といふのがあるが、之れは香氣も無く、葉が亦桃の葉に似て居るから、少し注意すればすぐ判る。菊科に屬する草木で、若葉はゆがいて食べる事が出來るが、あまり美味いものではない。

◇桔梗 秋の七草を選定した山上憶良の歌には 萩之花 尾花 葛花 瞿麥之花 姫部志 又藤袴 朝貌之花 とよんであつて、朝貌の花を選定しまゐ事であると思ふ。又の名をキチカウともいつて、桔梗科の宿根草で、此の桔梗を除く事は、誰しも好まない事で[illegible]。朝貌は野草ではなく、藥草として渡來したもので、土から渡來したものと傳へられて居るのみでなく、人に認められて來たのは元禄享保の頃(二百二十年前)以後の事で、山上憶良の歿したのは天平五年六月であるから、今から千百八十餘年前の古であり、そこに年代の甚だしい差がある。又或る者は木槿だとも云つて居るが、木槿は漢土から渡來した木であつて草ではない、之れは學者間でも問題になつて居る事であつて遽かに斷定する事が出來ないが、兎も角、今日では先づ一般に桔梗といふ事になつて居る。鬼灯燈台[illegible]三日天下明智光秀の紋所であるが、楚々たる氣に淡紫色又は白色の鐘狀をした花を着けたところは、いかにもしほらしい姿で、秋の七草の中でも床しいものである。

破壞された電車

◎秋風立つて景氣づいて來た京城の興行界
來さうで來なかつた喜多村に雲
之れから混戰になる活動寫眞

今年の一月以來殆んど振はなかつた京城の興行界も夏枯れに會つて尙更鬱まり返へつてゐたのだが秋風が立ちそめるに連れてどうやら持ち直し九月早々天勝が大仕掛で乘り込んだのがグン直し、昨今に至つて頗る活氣づいて來た、此の夏は

◆久し振に渡鮮 して待ち焦がれた好浪家をツンと唸らせようとしてゐた雲右衛門は月に叢雲花に風儼になられは世の倣ひで渡鮮間際に名古屋で發病、昨今では危篤とさへ傳へられてゐる位で之に手付を打つた京城の坂本某は目算ガラリと外れて青息吐息とか大連まで來た喜多村綠郎は例のゴテ綠の事ではあり劇場の氣の利いたのが無いと聞いて

◆二の足を踏だ 上に壽座でも商い給金で連れて來たところが算盤が持てぬと小首を捻つた結果之れもお流れ、來る來るとデン盛に待ち設けられてゐる呂昇も昨年の共進會の當時、渡鮮せぬと言つた時にフトした言葉質を押へられてゐるので今度來鮮するにしても下の關邊りに引かゝりが出來て鳥渡面倒があり折角

◆觀應へ聽應へ のあるものを迎へ樣とした京城では甚うした事情で釣りかけた鯛の樣な又鯰の樣なものを逃がして終つたが漸く最近になつて天勝の綺麗な一座に鳥渡渇を醫した氣味があつた所へ義太夫の林之助と東鳥鶴が浪花館に開けたと思ふと今度は少し

◆錆び過ぎてる 樣な傾きもあるけれども、昔取つた杵柄、道がに立敵の赤い役に廻つては亡くなつた團藏などを除いては今より二三十年鳥渡眞似手が無かつたといふ腕達者市川市十郎が近く乘込んで來るとかツイ先達て壽座に開けた紀久八、錦糸の一座は同じく古い連中の集りであつたが餘り成功しなかつたけれども今度の一座はごつしりしたものだし、久し振りの大名題の

◆歌舞伎芝居の 事ではあり好評を博する事でもあらうと思はれる、何しろ沈滯しきつた興行界もこういふ風に活氣づいて來たのは面白い事である、更に活動の方を見ると有樂館が出資者の一人である宮林某が經營に當る事になり八日から大敵大正黃金の二篇を向ふに廻し活動寫眞で開けたが辨士の好いのを引いたり浪花節を入れたり大分目覺しい興行振りを見せてゐるが、黃金館は

◆辨士の連鎖劇 で目先きを替へ、大正館は先達て中から戰禍を上げ疾風迅雷的の興行法で美事に成功したなど頗る面白い場面を見せた

◎太平通の火事

十五日午後七時京城太平通二丁目六十六番地貸座敷業白元熙(二七)が自宅溫突の焚火中溫突破損の箇所より洩れたる火氣が燃ね揚りて大事に及ばんとしたるより常備消防隊本町警察署員等馳付け大騷ぎとなりたるが同家溫突一間を全燒したるのみにて附近を破壞して同二十分鎭火したり損害額約十五圓なりと尙同所は娼家つゞきの事とて一時は大困雜を爲したり

ちうの懐

◆朝鮮の或土地で素人淨瑠璃會が有つた、其土地の顔指の物持ちで素さいふ大天狗が湖來腹切を語つてゐる最中、聽衆の一人が大聲を上げて笑つた、すると天狗先生、顔色を變へて『何が可笑いか、馬鹿野郎、表へ出て語つて見ろ』と怒鳴りつけるとその男が立ち上つて云はずに居られるか表へ來い聽いて見ろ◆是れも南鮮の或町で寺院の本堂を借りて淨瑠璃會を催した、雨のしよぼくく降る小氣味の惡るい晩、廣い本堂に聽衆は僅かに二十人餘りで有つた、豫定の番組も濟みドッサリの語り出したのは夜の十二時頃で有つた、番題は堀作作家で掛作の斷髮が奥の間へ入つた跡へ村の衆が來て掛作の死んだ事を語り死骸は向ふへ……と云つた途端に表戸をガタリ開けて本物の死骸を擔いだ男が二三人、ドサくと本堂へ上つて來たので太夫も聽衆も膽を消して飛び出したさうだ◆淨瑠璃を語るのに身振りするのは惡るいといふ說がある、是れは昔から名人間にいろくの說があるが身振りなしで不可ぬといふ說は無いやうだ現に釜山にゐる竹本綱島太夫などは身振りの劉な數へてゐる◆絵し名を知られた中老以上の太夫の中には殆んど身振りで語つてゐるのも見受ける、是れは見識を捨て芝居を演るやうなものので、好いのか惡るいのか考へ物である、要するに身振りも程度問題であらう。

◎談合事件延期 大邱覆審法院に控訴中なる第一第二談合事件被告は花井鵜澤兩博士に辯論を依頼せんとし交涉中なりしが愈々交涉纏り近々來邱する事に決し又來る十九日控訴公判開廷に決しゐたりし處辯護人の都合により延期となり期日未定なるも來月上旬ならんと

◎高山氏遺族弔慰金募集 過日不慮なる夫人と六名の子女とを殘し永眠したる故仁川公立實業學校長高山氏遺族の爲め學務局京畿道有志者發起となり弔慰金募集中なるが同情者は一人金五十錢以上とし九月二十五日迄に同校内伊藤長一氏宛に送付されしと(仁川)

◎科料 仁川府外町一丁目西村彌市及び仲町二丁目龜井幸七の二名は十日午後荷車に荷物を積載せし儘道路に放置し居るを巡査に發見され科料五十錢宛に處せらる(仁川)

演藝

▲天勝巡業 例の天勝一行は目下大田に興行中なるが同地打上げ後群山に於いて二日間それより木浦二日間を打ち釜山に出て更に下の關へ赴く由

▲浪花館 女義太夫竹本林之助一座にて十六日入日目の語り物は左の如し
▲朝顔宿松(廣久)▲伊賀越岡崎寺(林與)▲樂町(住子)▲御所櫻辨慶上使(林玉)▲壺山六助住家(は外)▲先代萩御殿▲紙治(廣治)▲寺小屋(林之助)(東風塊)

なるが頗るところ好評を受け居れる由

◎朝鮮鑛業界空前の良著 定價壹圓貳拾錢
朝鮮鑛業要覽 附錄 朝鮮地質鑛產圖
朝鮮に於ける地質及び鑛床調査の沿革地質の大要より鑛床の概說鑛業の概況を說き代表的鑛物及び土石と其產地に入りて各鑛物の鑛床鑛脈を十數章に細別して一々之を說明し終に鑛業に關する法規其の他の鑛業關係法規を載せ猶鮮明なる彩色別にせる朝鮮地質鑛產圖を附し朝鮮全土の地質及び鑛石分布の狀況を一目瞭然たらしめたり朝鮮鑛業界の羅針盤たるべし
附錄 朝鮮地質鑛產圖定價八拾錢にて分賣に應ず
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

日韓書房
新版報告
朝鮮總督府 普通文官試驗問題及解答 定價六十錢 送料六錢
花田忠五郎著 新潮を汲める綴方教授の實際 定價七十五錢 送料十錢
堀瀨七著 兒童の疑問 人の身體 定價四十二錢 送料十二錢
同 兒童疑問 理科の智囊 定價八十五錢 送料十錢
同 兒童疑問 日常の化學 定價八十五錢 送料十錢
京城本町二丁目 電話一四五番 振替朝鮮一一五番

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町二丁目（品商陳列館前） 電話六一三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三雄

手油八千代 為ㇾ傳ㇾ油 為傳ㇾ書ㇾ文れ 為傳ㇾ矢
大阪南久寶寺町四
支店 藤森源之助

品質純良
エモト
粕取 燒酎 味淋
京城蓬萊町
發賣元 三巴酒造場 電話長一〇六七番
三巴大田支店 電話長二二五番
三巴平壤支店 電話長五二一番

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六二一九番

女鳩
渡邊默禪

【一〇六】怪し火

佳江はどんな恥をも忍ばうと決心した。その決心が秀子にとつては佳江その物よりも由々しい敵であつた。どうしてもそれを打壊さなければ、自分の安全をたもたれぬほどの恐ろしいものであつた。で、お竹やお幸、その他の召使を唆かされるだけ唆かし立てゝ、手をかへ品を換へ、是でもか〳〵とあらゆる迫害を加へた。秀子の燃ゆるやうな復讐の心は、一致した女と女との悪辣な手を遂して、

毒々しく佳江の身邊に迫つた。それは形のない蛇のやうなものであつた。その蛇が彼女の喉に巻きついたり手に絡みついたりして、紅ゐの舌を吐きながら苦しめ續けた。でも彼女の決心を食切ることは能きなかつた。緑められるほどその決心が硬くなつた。といつて彼女も人間である。こんなにされてまでも忍ばねばならぬといふことは、普通の人情にも理窟にもないことだと思つた。いくら主人の爲だからといつて、犠牲になるにも程度がある。その程度をずつと上に超ゑてゐて今の苦痛は、それどれだけの結果を齎して來るであらう。忍んだからといつて秀子が反省する譯でもない、自分の方から我を折つて出てゆく女でもない。成程鳩子は此事を聞いたなら憐んでくれもしよう、子僧は同情をしてくれるに違ひない。併し其事が此の大河野家にとつて、どれだけの利益がある。秀子が反省しなかつたら同じことぢやないか。同じことなら自分の為ることに何の價値があらう。忍ぶといふのは無意味なことだ。つまらない屈従だ、莫迦〳〵しい柔順しだ。それだけの氣力があつたら、最つと大きく高飛車に出るがよい。主人は留守であつても家扶がゐる。外に御一族もゐる。碧譜地の有力者もゐる。何故さういふ人々に秀子の秘密を訴へて公然と爭つてやらないのである。自分は意氣地がない、愚か者だ。と思ふと一刻も凝然としてゐられなかつた。飛出して牛馬の家へ駆込まうかと爪立てたことも度々だつた。けれども思ひ直した。それは間違つてゐる。邁まつた者である。自分の忍ぶのは自分自身の恥ではない。先祖代々洪恩をいたゞいた主人一家の恥を忍ぶのである。今その恥を明るみへ持つて行かうとすれば、雑作もないことではあるが、爾うすれば主人の家名に瑕をつけることになる。それは不道徳である、無分別である。犠牲になるといふ貴い意味は其處にある。昔の祖先は割腹したり斬死したりして犠牲の意味を美しく輝かしたではないか。是しきのことに殉ぜられないやうでは、武士の血をうけた婦人として立つことは能きない。殊に忍ぶといふことが本來の目的ではない。主人の家庭を浄めるには是非必要な一つの方便である、道行である。かくして忍んでゐるうちには主人も歸つて來る、前途に光明がある、その光明を待つ間の短かい苦しみである。それしきの苦みを忍び得ずしてうつかり外へ飛出したら、誰がこの家庭を守る、誰が秀子の監視をする。女優風情の輝子もどきに此の潜い〳〵大河野家を踏みあらされてなるものか。といつも俯うした勇氣を出して切歯しつゝ怺へた。

と或る晩のこと十一時頃に臺所の用を片附けて、直側のお襲部屋に這入つた。その部屋は三方が壁で右手に窓があり、前の方には障子がはめてあつた。その夜はお竹が暇を貰つて類へ出かけたまゝ、消つて來る筈だつた。

ちやうど午前一時頃だつた。急に喉がつまるやうな感じがして、噎かへりたがりふつと目を覺した。思はず起きると共に愕然として飛起きた。見ると室内は一杯の煙、裾の方に背を焔が凄じい勢ひで渦巻いてゐる。彼女はハッと思ひながらいきなり夜着を引掴んで、火を目覚けながらばた〳〵と叩き伏せた。

入院隨意 京城南大門通三丁目(藤木店横入る) 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

皮膚科 皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障礙 入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元明治町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

隨鷗吟社七言絶句聯句
(九月十日於猿樂香山樓)

東台山麓會同人 峰柴 詩酒風流共養眞
醉倚長松濤無語 柳堂 秋蟬搖曳數聲頻
蓮池消曉憂雨歇 魚躍萍開水作文
却倚千炎家沿入 蕉陰移榻細如雲
新蛩啼苦野人閑 漸覺秋涼逐日繁
風葉水北堪入畫 便看詩趣滿乾坤
秋來暑氣西邊端 避暑蟬聲近竹欄
何日涼風吹拂袂 紫薇花底把杯看
農家厄日醉開顔 松菊一庭詩句間
飯熟青精疏食惰 衡門不鎖對前山
西風動樹蟬聲發 秋暑却如三伏天
新倚池亭... 人間此處會詩仙
桂花已近月良宵 天上何低舉手招
露地西風吹熱去 夕陽秋色入鳴蜩
月色蟲聲迫近郊 興來尋句踏黄茅
高樓有酒風宮影 欲把炎氣醉裏拋

讀者の領分

初音町を流るゝ河流初音湯の下手に二箇所板橋がありましたが其の一箇所は堅固なる土橋に改築されましたが今一箇所の分は先日の豪雨に押流されて今は姑息的に飛石にしてありますが通行の老人婦女子等は非常の困難をして居ります殊に學校へ往復する兒童等の屢々河中に轉落する者あるを見る至急適當の工事を望む(行通監督者)▲時節柄飲食物殊に菓子屋に注意を希望す十四日午前八時本町一丁目某菓子屋にて大福餅を二三十個求めました宅にて味ひしに酸味を覺へ中候四、五個を開き調べましたら皆悉の物即ち前日賣殘の餡を煮返したる者之れで大和町の者二度出満しました(迷惑生)▲此度改正されたる電車の學生乗車券は非常に不都合である登校の場合でも指定區域より外には乗れない普通割引券は切り取りでも通用するがこの分は通用しない夕方少し遅く歸る者なら車掌によると小言を云ふこの外矛盾した事が多い早く何とか改正してほしいこの件は我々學生一同の望む所である(電車通學生總代)▲電車の學生割引券は正服正帽に限ると云ふ規則があるものか知らぬが昨朝和服で登校する時乗つたら駄目だと言はれた車掌から(三錢拂中學生)▲好書家に申す今迄二三回の展覧會の内部事情に依り本年は相談の結果聯合の會は見合す事になり爲に當事者は目下出品畫等に余念が無い少し恐で下さい(う、う)

新刊紹介

▲早稻田大學講義錄一覽(無代)東京市牛込區早稻田大學出版部 ▲陽明(九月號)五錢大阪府天王寺村天王寺二〇八六大阪陽明學會 ▲圖書通信社月報(九月號)定價不詳東京市芝區櫻川町七其社 ▲國民タイムス(九月號)究明の裏面、私から見た男の性慾其他(十錢東京市本郷區森川町一其社) ▲正則中學講義錄(二學期ノ五)代數は一次方程式漢文は日本外史程度、英語はナショナル第二讀本程度(會費五十錢東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會) ▲婦人週報(九月八日號)變り行く家族制度コレラ豫防と調理の注意、不健康者の遊藥等(四錢五厘東京市牛込區市ケ谷田町二ノ一七其社) ▲東京時事經濟彙報(六七七)滿鐵の監督權を内閣に移せ、今の株式市場及株式時價及利廻表其他經濟界の事情、消息等(月十錢東京市日本橋區坂本町其通信社) ▲朝鮮基督教時報(九月號)波瀾當吉、高橋悠誠、其他諸氏の基督教に關する説及時報(五錢京城壽町三二其社) ▲朝鮮農會報(九月號)引き續き朝鮮の漢藥、朝鮮土壌改良論及び竹林に關する調査、畜牧の作り方等(二十錢朝鮮農會) ▲ネーグル(九月號)種々なる異境内閣、内政外交時局談、奇々怪々なる結婚者の告白、人としての女その他(十八錢東京市芝區) ▲歐洲戰爭畫史 歐洲戰爭に於ける陸海の光景悲痛の状況を撮影せしもの又交戰各國が如何に國を擧げて大戰に對峙しているか(二十錢) ▲富之研究(九月號) ▲石油時報(九月號)十錢東京市麹町區有樂町一ノ一其社 ▲月刊樂譜(九月號)八錢

商況

▲下關期米特電 ▲大阪期米 ▲能く賣る ▲大商内 ▲現物界

▲廣告

新刊書御案内

書名	著者	定價
眞宗全史	村上專精	三、〇〇
梁川全集第六卷日記及消息	綱島梁川	一、五〇
南進策、小笠原群島	山田毅一	一、五〇
時は過ぎゆく	田山花袋	一、二〇
漢方調劑自療寶典	富士川游	五〇
日本住宅と諸什器取扱法	杉本文太郎	二、〇〇
漢文譚	山井翰光	六五
成金物語	千原伊之吉	一、四〇
株式開語	五十嵐力	一、二〇
夜の露	竹久夢二	九五
坐禪指南	吉津宜英師	八〇
啄木歌集	石川啄木	七〇
男讀むべからず	井上わ子	七五
錦音の中	土岐哀果	四〇
大ナポレオン		六〇
滑稽ニヤ〳〵大會	河野克光	
分數の新解き方	背山人	五〇
秘密探検十五少年物語	森田思軒	五八
受験必携法律講義	坂上綱吉	特七五
同 法律問答	同	四〇〇
同 朝鮮行政法規大意	安達大壽	四〇〇
同 會話譯文速成	同	四〇〇
同 作文軌範	同	四〇〇

大阪屋號書店 京城本町 電六八四 振替京城二〇八六

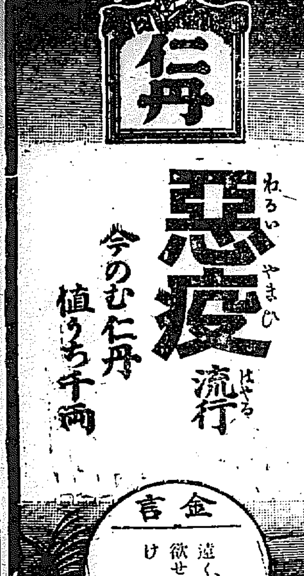
りん病 消渇せ困る方 多年のもの慢性のものも治癒す 自宅にて人知れず安全秘密に良験あり只一劑を試よ切手三錢其良藥と自宅療法の詳細を報す 名古屋市南かじや町 武藤亀吉

衛生必携品 京城黄金町 山田文榮堂藥房

鰊の好季來!!! 仁川仲町三丁目(穴門通) 仁川用達社遊漁部 電話(三三五番)

唐箕、万石、粉摺臼、笊、鎌 及各種農具其他養蠶器具、機械 肥料、種苗 廉價販賣 京城南大門外 電話三〇三番 振替口座京城三七八番 朝鮮勸農株式會社販賣部

淋病新藥ツヨール 下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士、加藤獨逸醫學士、山田獨逸醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる ▲本品は殺菌力強大にして絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臓炎、其他に一般急性慢性淋病に偉効を奏す 説明書無料贈呈す 發賣元 東京日本橋 ツヨール商會 關西代理店 大阪 到處藥舖に販賣



男の生殖器病 生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、膽神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用する時は漸時効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名の士も其實験を證明し賞讃す 京 直空療法研究所

齒科診療 仁川山手町穴門通 東京齒科醫學士 飯塚喜四郎 電話三五〇番

かつけ病者に告ぐ 東京地方裁判所に登録を受く かつけふうじ 京城大和町二丁目十番地 京城出張所 委しきは電話千三番へ御照會

花柳病專門藥房 りん病薬壹週分普武圓特製參圓ばい毒藥壹週分普壹圓廿錢特製武圓 小包料拾武錢引換廿壹錢 近來東京其他各地に偽ドラッグあり薬品に有田製造なき物は凡て偽物に付御買取の際御注意を乞ふ 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部 電話長二五六七番振替京城四六七番 詳細は本月四日の本紙を御覧

今が一番恐ろしい病氣に罹りやすい時です 一寸し怪しいと思つたらスグ弊店へ 京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番振替七三七番

內科 小兒科 京城本町二丁目(瓦斯會社前側) 芙蓉醫院 醫學士 森定吉 電話二六二三番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成親切を旨とし御高需に應候 京城日報社寫眞製版部

私立實習裁縫女學校々長故水野いち子豫て假葬之處來る十八日午後四時南米倉町京城基督教會に於て更に葬儀執行可致候間謹告仕候
大正五年九月十六日
女 水野靜江
親戚總代 水野錠太郎
友人 山口精
總代 小島余四三
淵澤能惠子

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町二丁目(壽館横) 朝鮮葬儀社 電話五六二番

葬具一式 造花、生花、花環、寄贈品裝飾品、其他供物一切 御用命奉希上候 京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十月九日 正午出帆 / 高砂丸 九月十七日 正午出帆 / 三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 ○君が代丸 九月廿二日後四時出帆 ○大有丸 九月十九日後四時出帆 ○神代丸 九月十六日後四時出帆 ○秀吉丸 九月廿四日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
鐵道院並に各社外船と聯絡輸送の便あり詳細は本社支店、出張所、代理店荷客取扱店に御照會被下度候 本社 電話長一九五二番
京城南大門通 荷客取扱店 松原運送店(電話長七〇番)
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○成鏡丸 九月十九日 / 九月廿九日 / 十月九日 / 九月廿三日 各港寄港蔚山經由 釜山發
○總城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 九月二十日 / 九月十八日 / 九月十四日 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠淸丸 ○平壤丸 九月十五日 / 九月廿七日 城津清津雄基經由釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 北久味五里浦行 毎月廿八回 元山發
○盈德丸 廿浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 九月十五日 釜山發
○江陵丸 ○咸陽丸 長生浦方魚津寄港 毎日 釜山發 浦項發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各港 九月十八日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行 ○巨濟丸 ○慶貴丸 (三日目毎二回水浦行) 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行(西廻) 九月十八日 木浦發
○慶興丸 南多島海列島行(月三回) 九月廿一日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行(東廻) 九月十六日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由、德洞又は白翎島行 九月 日 仁川發
○江原丸 鎮南浦、大連、芝罘行 九月十五日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 各港經由木浦行 九月廿一日 / 九月十七日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
○外航所の航路は遠洋航路を除く其他航路の乗船は時は五分引を以て運賃切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 須磨丸 九月廿一日 / 安東丸 九月十八日 / 大智丸 九月廿四日 後五時出帆
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 九月十五日 / 十月二日 後二時出帆
×群山、釜山、橫濱行 福州丸 十月九日 / 湖州丸 九月廿八日 後二時出帆
×木浦釜山關門、神戸、大阪行 天智丸 九月 日 後二時出帆
○鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 / 十月十五日 後二時出帆
○大連直行 福州丸 十月三日 / 湖州丸 九月廿三日 正午出帆
○鎭南浦行 天智丸 九月十四日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆) 八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 安平丸 九月十六日 / 宮島丸 九月廿二日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 九月廿四日 後四時出 / 湖北丸 九月 日 前六時出
御注意 ●朝鮮線道及び南滿洲鐵道會社との聯帶切符發賣仕候 ●毎乘船の御客は本船出帆の一時間前迄に乘船相成度 ●○印は一等客御取扱△印は二等 ×印は一等賃金
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇 五番 五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番
●中國四國沿岸各港行乘客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

金泉醴泉間自動車時間
上り 一番 二番 / 下り 一番 二番
金泉發 前八〇〇 後一〇〇 / 金泉着 前一一〇〇 後五三〇
(小荷物運搬仕り候) 金泉電話四八番
金泉鐵居自動車支部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第一回豐丸 九月十六日後四時入港 九月十七日正午時出帆
朝鮮沿岸要所にて荷客連絡取扱仕候 大連にては青島行定期船接續取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出帆
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山 月 日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部 / 元山代理店 電話二四四七番 田口回漕部 / 京城取次店 南大門 電話二六八・二〇一七 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行 日後五時出帆
○立山丸 淸津、浦鹽行 日後十時出帆
○元山丸 城津、浦鹽行 日後十時出帆
○小倉丸 西湖、新浦、城津、淸津行 日後十時出帆
○元山丸 第三琴平丸 神戸、大阪行 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 日後六時出帆
○任須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿六日廿一日 午後十時出帆
○天貴丸
釜山港埋立新町 大池回漕部